

平成27年度

# 教育事務に関する 点検及び評価報告書

《平成26年度事業分》

平成27年11月

七戸町教育委員会

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、その報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務づけられました。また、その際、客観性を確保する観点から、教育委員会以外の学識経験者による知見の活用を図ることになりました。

七戸町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、学識経験者からなる「七戸町教育評価審議会」からご意見をいただきながら、教育委員会の事務の管理・執行状況について点検及び評価を行い、報告書を作成いたしました。

この結果をこれからの施策等に反映させ、教育施策を着実に推進していきたいと考えておりますので、町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

- 第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務  
その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# 目 次

I	点検・評価の概要	1
II	七戸町教育施策の方針	3
III	平成26年度事業分 教育委員会の活動状況について	11
IV	平成26年度事業分 教育委員会の事務事業に対する意見	12
VI	平成26年度事業分 施策別主要事業一覧	13
	事業評価シート	14

# I 点検・評価の概要

## 1 点検・評価の対象

### (1) 点検・評価の対象

七戸町教育施策の方針に基づいて実施する学校教育、社会教育、社会体育、文化財保護と芸術文化振興等の各分野を構成する主な事務事業を対象に点検・評価を行った。

### (2) 点検・評価の方法

各分野、施策に属する事務事業を点検・評価するため、事務事業ごとに事業費、目的、事業効果等を整理し、その結果に基づいて事業評価及び今後の取組等について記載した。

### (3) 学識経験者の知見の活用

教育委員会が実施した点検・評価の客観性を確保するため、教育評価審議会を開催し、教育に関し学識経験を有する者（教育評価審議会委員2人）から意見をいただき、点検・評価の実施と報告書の作成を行った。

## 2 点検・評価作業の経緯

平成27年5月28日	点検・評価に係る事務打合せ
9月18日	第1回教育評価審議会
10月13日	第2回教育評価審議会
11月 2日	第3回教育評価審議会
11月18日	定例教育委員会へ報告
11月19日	文教厚生常任委員会へ報告
12月 1日	第4回町議会定例会へ報告

## 3 評価報告書の公表

評価報告書は、七戸町ホームページに掲載し公表する。

## 4 点検・評価に際し、委嘱した学識経験を有する者

松林 和子（七戸神明宮宮司）

石田 隆平（自営業）

5 前年度の点検・評価における教育評価審議会委員からの意見に対する説明

教育評価審議会委員からの意見（要約）	各課からの回答
<p>(1) 平成25年度から開始した学校給食費給付金交付事業について、事業費が多額であることから一定の期間が経過した時点で、費用対効果等を含めた検証をお願いしたい。</p>	<p>3年又は5年をめぐり、例えば、学校及び保護者からアンケートを取るなどして、検証していきたい。 (学務課)</p>
<p>(2) 町立美術館の指定管理委託事業について、年々事業費が増加しているが、その反面、入館者数は減少傾向にあるので、管理運営方法について、抜本的な見直し・検討をお願いしたい。</p>	<p>指定管理者の役割を明確にし、実績等をモニタリングした後に、外部の人材を加えた評価委員等により、公平な評価の仕組みづくりを進めたい。 (生涯学習課)</p>
<p>(3) スポーツ振興事業について、類似した事業、例えばスポーツ少年団支援補助事業と子どもスポーツ振興事業があり、わかりづらいので、事業の整理統合の検討をお願いしたい。</p>	<p>スポーツ少年団支援事業は、以前から七戸町体育協会から下部組織である七戸町スポーツ少年団に対して育成助成費として補助しており、これに対して、子どもスポーツ振興事業は、地域型少年団への完全移行に伴い、保護者の送迎、指導者の確保・謝礼・交通費などの負担が問題となってきたため、経費負担を軽減する目的で七戸町スポーツ少年団に対して平成24年度から補助している。 今後は、魅力あるまちづくりを展開していくため、違いの分かりづらい事業については、見直し・整理統合をしていきたい。 (生涯学習課)</p>
<p>(4) 教育事務に関する点検及び評価報告書（本書）について、各担当者が細かく実績を報告・評価していることについては評価できるが、ボリュームがありすぎると思われる。 例えば、事業評価シートは教育委員会のバックデータとして管理するなど、簡略化の工夫をお願いしたい。</p>	<p>これまで掲載してきた内容のうち、「IV平成〇〇分教育委員会の事務事業点検評価について」は、その後に掲載している事業評価シートを文章化したものであるため、削除することとした。 (学務課)</p>

## Ⅱ 七戸町教育施策の方針

七戸町教育委員会は、「潤いと彩りあふれる田園文化都市」の形成に向け、健康で、創造性に富み、新しい時代を主体的に切り拓く町民の育成を目指し、

- 1 学び・自立・共生の力をはぐくむ学校教育
- 2 自己の啓発・向上と社会参加を実現する社会教育
- 3 芸術・文化の伝承・創造と文化財の保存・活用
- 4 健康増進と体力向上を促進する生涯スポーツ

を、関係機関・団体、地域との密なる連携を図りながら推進します。

# 学校教育の方針と重点

## 1 方針

青森県教育委員会の「学校教育指導の方針・重点」、上北の教育「学校教育指導の方針と重点」、中部上北教育委員会「学校教育の重点施策」との関連を図り、教育は人づくりという視点に立って、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成を目指し、学校運営に創意工夫をこらし、個を生かし生きる力と夢を育む学校教育の推進に努める。

## 2 重点

### (1) 確かな学力の育成

一人一人の子どもが、各教科や総合的な学習の時間等において主体的に取り組み、確かな学力を身に付けることができるよう、児童生徒理解に基づいた学年・学級経営の充実を図りながら、一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の育成に努める。

#### ア 教材研究の深化と「わかる授業」「伸ばす授業」の実践

- ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得
- ・言語活動の充実を図り、学習意欲を高める授業の実践
- ・習熟の程度を踏まえたきめ細かな指導の工夫

#### イ 指導と評価の一体化

- ・自己解決の場の設定と適切な授業形態
- ・評価の観点に対応した指導と評価場面の絞り込み
- ・必要に応じた補充的学習や発展的学習の導入

#### ウ 学習環境づくりと学習習慣の確立

- ・一人一人を生かすための学習環境の整備
- ・読書習慣を身に付けるための読書活動や学校図書館の有効活用
- ・縦の連携、横の連携を生かした学習習慣の確立

### (2) 豊かな心の育成

一人一人の子どもが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を具体的な生活の中に生かし得るよう、道徳性の育成に努める。

#### ア 教育活動全体を通じての道徳教育の充実

- ・子どもの道徳性の実態に即した資料選択と分析・指導方法の工夫
- ・「心のノート」の有効な活用

#### イ 心の結びつきを基調とした指導の充実

- ・子ども同士及び子どもと教師間の好ましい人間関係を重視した温かな学年・学級経営の充実
- ・カウンセリングマインドの機能を活かした教育相談の実施

#### ウ 道徳性の育成や社会性の育成を目指した体験活動

- ・道徳の時間と関連性を明確にした体験活動の推進
- ・郷土の伝統・文化に親しみ、愛着をもたせるための資料の開発・活用と地域社会との連携・協力

### (3) 健やかな身体の育成

一人一人の子どもが、生涯にわたり自ら進んで運動に親しみ、健康・安全で活力のある生活を送ることができるよう、家庭や地域社会との連携を図りながら、心と体を一体としてとらえ、健康でたくましい体を育む教育の推進に努める。

- ア 運動に親しむ資質や能力の育成及び体力の向上を図る指導の充実
- イ 健康に関する知識を身に付け、自ら健康な生活を実践できる指導の充実
- ウ 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができる指導の充実
- エ 身の回りの生活の安全、防災等、安全に関する情報を正しく判断し、安全のための行動を実践できる力の育成

### (4) 特別支援教育の充実

発達障害を含む障害のある子どもが、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するとともに、そのもてる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

- ア 校内支援体制の整備・充実
  - ・校内及び校種間における引き継ぎ体制の整備と組織的・継続的支援
  - ・全教職員の専門性の向上
- イ 指導の充実
  - ・個に応じた教育課程の編成と指導と評価の充実
  - ・個別の指導計画の作成と活用による指導の充実
  - ・ねらいを明確にした交流及び共同学習の実施
- ウ 特別支援学校や家庭、関係機関との緊密な連携
  - ・将来の自立や社会参加のための支援体制づくりと適切な援助

### (5) 国際化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。

- ア 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- イ 外国語指導助手等の活用や言語活動の工夫・充実による、外国語を通じたコミュニケーション能力の育成
- ウ 異なった文化や習慣をもつ人々との交流の推進

### (6) 情報化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、情報活用能力を身に付けることができるよう、情報モラルにかかわる指導の充実を図り、系統的・体系的な情報教育の推進に努める。

- ア 情報教育を推進する指導體制の整備・充実
- イ 学習指導におけるコンピュータ等の適切な活用の推進
- ウ 情報通信ネットワーク等を適切に活用した教育の推進

(7) 研修の充実

教職の専門性を高め、教育活動の充実を図るため、計画的・積極的な研修の推進に努める。

ア 校内研修体制の整備・充実

イ 学校の教育課題解決のための実践的研究の充実

ウ 家庭や地域社会と連携した特色ある教育活動の研究・推進

エ 教育要領・学習指導要領に基づく実践的研究の充実

# 社会教育の方針と重点

## 1 方針

町民が、自己の向上を目指して生きがいのある充実した生活を送るとともに、人と人のつながりを大切にす  
る豊かで住みよい地域社会をつくり出すことができるよう、一人一人の生涯にわたる学習と社会参加を実現  
する社会教育の推進に努める。

## 2 重点

### (1) 一人一人の主体的な学習と社会参加の推進

町民一人一人の主体的な学習活動と社会参加活動の支援の充実に努める。

ア 多様な学習活動の支援

イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

### (2) 次代を担う青少年の育成

心豊かでたくましい青少年の育成に努める。

ア 青少年の体験活動の充実

イ 青少年のキャリア形成の支援

ウ 子どもの読書活動の充実

### (3) 地域を支える人材の育成

地域を支え、地域に貢献する人材の育成に努める。

ア 地域活動の指導者、実践者の育成

### (4) 学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上

学校・家庭・地域の連携を強化し、社会全体の教育力の向上に努める。

ア 学校と地域の協働による教育活動の充実

イ 家庭教育支援の充実

ウ 地域全体で子どもを育むための仕組みづくり

### (5) 社会教育推進のための基盤整備

生涯学習の振興に資する社会教育推進基盤の整備・充実に努める。

ア 社会教育推進体制の充実

イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進

ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上

エ 社会教育関係団体の活動の支援

# 文化財保護と芸術文化振興の方針と重点

## 1 方針

町民一人一人が、郷土に対する愛着と誇りをもち、潤いのある生活の実現を目指すとともに、芸術文化の伝承・創造や貴重な文化財の保存・活用の推進に努める。

## 2 重点

### (1) 芸術文化活動の充実

芸術文化団体及びサークル等の自主的な活動を奨励し、その伝承・創造を促進するための支援に努める。

#### ア 芸術文化に関する団体及びサークル等の育成

- ・自主的な活動についての町内外への情報の発信
- ・芸術文化団体及びサークル等の連携による発表会の機会の創設

#### イ 鷹山宇一記念美術館等との連携

- ・芸術文化団体及びサークル等への研修機会の提供
- ・応募作品等の展示

### (2) 文化財の保護・活用の充実

町内に存在する有形・無形の文化財等の保存・活用とその環境の整備に努める。

#### ア 文化財の保存

- ・歴史上や学術上価値の高い有形・無形文化財や埋蔵文化財、民俗文化財等の調査研究活動や記録の作成等による保存
- ・文化財の保護思想の普及・啓発

#### イ 文化財の管理・活用

- ・史跡や名勝、天然記念物の保存のための環境保全
- ・保管している文化財の公開展示と公開講座等の開催
- ・「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録に向けた取り組みの推進

### (3) 伝統芸能・工芸技術等の継承

郷土に伝わる伝統芸能・工芸技術等の保存・継承を奨励し、それに相応しい環境の整備に努める。

#### ア 伝統芸能・工芸技術等の保存

- ・歴史的価値の高い伝統芸能・工芸技術等の町指定
- ・記録の作成等による保存と情報の発信

#### イ 伝統芸能・工芸技術等の継承

- ・伝承活動及び後継者の育成に対する支援
- ・伝統芸能・工芸技術等の発表機会の奨励・支援

### (4) 文化交流センター施設の整備活用の充実

- ア 文化交流センター内にある資料の保管充実と教育普及に努める

# 社会体育の方針と重点

## 1 方針

町民が、健やかで活力に満ちた生活の実現を目指すとともに、健康の維持増進・体力の向上に必要なスポーツ活動及び夢や感動を与える競技者・団体の育成等を通じて生涯スポーツ社会の実現に向けた環境づくりの推進に努める。

## 2 重点

### (1) 生涯にわたるスポーツライフの実現

心身両面にわたる健康の維持増進と体力の向上を図るとともに、町民1スポーツの普及・奨励に努める。

#### ア スポーツに親しむ環境づくり

- ・スポーツへの興味・関心を高める各種教室・講習会等の開催やスポーツ活動の機会の提供
- ・健康とスポーツとの関わりや気軽にできる軽スポーツ等の情報の提供

#### イ 地域スポーツ活動の普及・奨励

- ・町民相互の連携及び地域の活力の醸成を図るスポーツ交流の普及・奨励
- ・誰でも親しめる総合型地域スポーツクラブ設置の取組

### (2) 競技者の育成を図る環境づくり

競技者の競技力の向上を図るとともに、トップレベルの競技者の育成に努める。

#### ア 競技力を高める環境づくり

- ・町体育協会やスポーツ少年団等の自主的な活動の奨励・支援
- ・スポーツ科学を導入した指導者の養成と研修機会の提供

#### イ 各種スポーツ大会出場の奨励

- ・競技選手の強化練習の充実
- ・指導技術に長けた指導者の活用

### (3) スポーツ振興の体制整備

生涯にわたるスポーツライフの実現を目指し、スポーツに親しみ競技力を向上させる体制整備に努める。

#### ア 指導者の確保

- ・要請に応じて地域やスポーツ団体へ派遣できる指導者の人材バンクへの登録・活用
- ・体育指導委員や体育協会会員の研修会・講習会等への派遣

#### イ スポーツ振興の充実

- ・体育協会を中核として各種スポーツ団体や職域団体、地域の代表者等の相互理解に基づく生涯スポーツへの取り組み
- ・構成する各種団体からの指導者の相互派遣

#### ウ 社会体育施設等の有効活用の促進

- ・スポーツ担当職員の研修の充実と実地指導による支援
- ・スポーツ活動に関する情報の収集・発信

## 公民館の方針と重点

### 1 方針

地域住民の学習活動の拠点としての機能の充実を図るとともに、社会教育団体や学習サークル等の活動する場の提供と支援に努める。

### 2 重点

#### (1) 公民館等の充実及び活用の促進

- ア 多様な学習プログラムの開発と学習資料の整備
- イ 自己啓発・向上に資する講座・研修会等の開催
- ウ 各分野のリーダーの計画的・体系的な育成

#### (2) 社会教育団体や学習サークル等の活動への支援

- ア 学習活動を支援する指導者・コーディネーター等の紹介・斡旋
- イ 学習活動に必要な施設設備等の有効活用及び情報機器等による学習情報の提供
- ウ 各種発表会・展示会等、文化創造活動の機会と場の提供

## 図書館の方針と重点

### 1 方針

地域住民の資料や情報センターとしての役割を果たすとともに、ボランティア団体等の活動の支援や利用者のニーズに対応した環境整備と情報提供に努める。

### 2 重点

#### (1) 図書資料の整備充実と利用の促進

- ア 利用者の学習ニーズに対応した図書の整備と情報提供

#### (2) 読書活動の推進

- ア 子ども読書活動の支援と推進
- イ ブックスタート事業の推進
- ウ ボランティア活動の育成と支援

### Ⅲ 平成26年度事業分 教育委員会の活動状況について

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、5人の委員をもって組織し、学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関することや教育財産の管理に関すること、学校の教育課程、学習指導、生徒指導等に関すること等について、管理、執行することとされている。

#### 1 教育委員の構成

平成27年3月現在

役 職 名	氏 名	任 期
委 員 長	附 田 道 大	平成24年5月17日～平成28年5月16日
委員長職務代行者	内 山 優	平成23年5月17日～平成27年5月16日
委 員	山 本 貴 子	平成26年5月17日～平成30年5月16日
委 員	福 田 雅 行	平成25年5月17日～平成29年5月16日
教 育 長	神 龍 子	平成25年5月17日～平成29年5月16日

#### 2 教育委員会の開催状況

七戸町教育委員会の会議は、毎月1回開催するほか、必要に応じて臨時会議を開催している。

また、所管する事項について調査及び研究を行い、現状の把握や課題の解決に努めるなど、教育行政の推進を図っている。

##### (1) 教育委員会会議（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

開 催 回 数		付 議 案 件			
定 例 会	臨 時 会	報 告	議 案	協 議	選 挙
12	3	43	48	4	1

#### 3 教育委員の会議以外の活動状況

教育委員は、毎月1回開催する定例会議、必要に応じて臨時会議に出席しているほか、学校等の教育関連施設を訪問して教育現場の状況を把握するとともに、研修会や教育委員会主催の各種行事に参加し、委員としての幅広い識見を養い、当町の教育行政の向上に努めている。

##### (1) 主な活動

学校訪問（幼稚園、小学校4校、中学校3校）	上十三教育委員会連合会研修会
青森県教育委員会連合会研修会	東北六県教育委員会連合会研修会
幼稚園、各小・中学校の入学式や卒業式等の学校行事	成人式
教育奨励賞授与式	教育福祉援助基金授与式
奨学生選考委員会	

## IV 平成26年度事業分 教育委員会の事務事業に対する意見

七戸町教育委員会の事務事業評価の取組は、平成21年度の平成20年度事業評価からスタートし、今回が7回目の事業評価となるが、回を重ねるごとに、その内容や様式を改善しながら充実を図ってきた。

平成26年度事業もこれまで同様に個々の事業の気付いた点を評価することとした。

- 1 学校給食費給付金事業については、昨年度も意見として取り上げており、また、まだ事業の見直しの時期ではないと考えられるが、教育委員会としてできる子育て支援は他にもあると思われるので、検討していただきたい。
- 2 町立美術館について、整備当時は地域内では初の本格的な美術館であり、注目度も高く来館者も多かったが、近年は、近隣に大型で特色のある美術館が設立されたこともあり、苦しい状況も致し方ない部分もあると理解できる。  
しかし、新幹線駅のそば、国道4号線沿いという立地条件は他に比べて依然として有利であり、アイデア次第では十分巻き返せると思うので、指定管理業者に一任するのではなく、教育委員会として方向性を示す等、積極的に運営に関わってほしい。
- 3 外国語教育について、外国語指導助手（ALT）派遣事業を実施しているが、国では小学校の英語教科化を導入予定であることから、今後ますます英語の重要性が高まってくると思われるので、さらに充実していただきたい。
- 4 事業全般について、担当者自ら廃止や見直しの方向性を判断していることは、素晴らしい取り組みであり、今後も継続し、どんどん意見を述べてほしい。

平成27年11月 2日

七戸町教育評価審議会委員

松林 和子（七戸神明宮宮司）

石田 隆平（自営業）

V 平成26年度事業分 施策別主要事業一覧

施策分野	重点項目	事業細目番号	事業名	継続	充実	廃止	縮小	統合	完了	見直し	その他	
1	(1) 確かな学力の育成	1 (1) ①	町負担臨時教員配置事業	●	●							
			② 臨時講師配置事業	●								
	(2) 豊かな心の育成	(2) ①	教育奨励賞								●	
			② 教育福祉援助基金給付事業	●								
			③ 奨学資金貸付事業	●								
			④ 学校おもいやり事業	●								
	(3) 健やかな身体の育成	(3) ①	学校検診事業	●								
			② 七戸町学校保健会補助事業	●								
			③ 七戸町児童生徒対外遠征費補助事業	●								●
			④ 要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業	●								
			⑤ 学校給食費給付金交付事業	●								
	(4) 特別支援教育の充実	(4) ①	特別支援教育支援員配置事業	●	●							
			② 学校生活相談員配置事業	●	●							
			③ 就学指導委員会	●								
(5) 国際化に対応する教育の推進	(5) ①	外国語指導助手(A.L.T)派遣事業	●	●								
		② 青森県国際交流員派遣事業	●									
(6) 情報化に対応する教育の推進	(6) ①	学校設備ICT化事業	●									
	(7) ①	七戸町教育振興会補助事業	●									
(7) 研修の充実		② ふるさと研修事業	●	●								
2	(1) 一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	2 (1) ①	町民大学講座開設事業	●								
		(2) ①	ふるさと学びあい推進事業		●							
		(3) ①	成人式開催事業	●								
		(4) ①	家庭教育支援総合推進事業	●								
			② 放課後子ども教室推進事業		●							
(5) 社会教育推進のための基盤整備	(5) ①	七戸町子ども会育成連絡協議会補助事業	●									
		② 青少年育成七戸町民会議	●									
3	(1) 芸術文化活動の充実	3 (1) ①	町立美術館の指定管理委託事業	●								
			② 文化芸術鑑賞事業		●							
			③ オータムフェスタ(文化部門)開催事業	●								
	(2) 文化財の保護・保存・活用	(2) ①	世界文化遺産登録に向けた取組事業		●							
		② 二ツ森貝塚史跡公園管理業務委託事業		●								
(3) 伝統芸能・工芸技術等の継承	(3) ①	七戸町郷土芸能保存会への支援	●									
	(4) ①	文化交流センターの活用の充実								●		
4	(1) 生涯にわたるスポーツライフの実現	4 (1) ①	七戸町ジュニアスキースクール	●								
			② 町民スポーツ交流会	●							●	
			③ 体育協会加盟各部によるスポーツ大会	●								
	(2) 競技者の育成を図る環境づくり	(2) ①	町長杯野球・ソフトボール大会兼七戸地区防犯野球・ソフトボール大会								●	
			② 青森県民駅伝競走大会	●								
			③ 体育協会支援補助事業	●								
			④ スポーツ少年団支援補助事業	●								
			⑤ 子どもスポーツ振興事業	●								
			⑥ 体育協会大会派遣事業(郡総合・北奥羽・県民体育大会)	●							●	
			⑦ スポーツ大会等選手派遣補助事業(県大会・東北大会・全国大会)	●							●	
	(3) スポーツ振興の体制整備	(3) ①	スポーツ推進委員の研修	●								
			② スポーツ顕彰	●								
			③ 各種大会開催や合宿等の誘致	●								
5	(1) 公民館等の充実及び活用の促進	5 (1) ①	公民館運営審議員設置事業	●								
			② 中央公民館(施設)事業	●								
			③ 中央公民館分館事業		●							
			④ 中央公民館講座開設事業	●								
			⑤ 寿大学開設事業	●	●							
			⑥ 柏葉大学開設事業	●							●	
			⑦ 七戸南公民館講座開設事業	●	●							
			⑧ 七戸南公民館分館事業	●	●							
(2) 社会教育団体や学習サークル等の活動への支援	(2) ①	文化協会の育成支援事業	●									
		② 七戸町連合婦人会育成事業	●									
		③ 中央公民館だより発行事業	●	●								
6	(1) 図書資料ので整備充実と利用の促進	6 (1) ①	中央公民館図書室事業	●								
			② 図書館サービス事業	●	●							
			③ 図書館協議会の運営	●								
	(2) 読書活動の推進	(2) ①	子どもの読書活動推進事業(中央公民館)	●								
			② ボランティア活動の育成支援事業	●								
			③ 子どもの読書活動推進事業(中央図書館)	●								
			④ 生涯学習の推進・支援事業	●								

# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	1(1)①	担当課	学務課	担当者	佐々木 智恵子
事業名	町費負担臨時教員配置事業				

事業費	年 度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
		決 算 額(千円)		—	—
財源内訳		国・県支出金	—	—	
		そ の 他	—	—	
		町 債	—	—	
		一般財源	—	—	12,220

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	各校の教育課題を解決するため、まち独自の教員(臨時講師)を採用して教育環境の充実による「確かな学力の定着」「生徒指導の充実」等を図る。	<input type="checkbox"/> 内容	1 七戸町教育委員会が求める人材 ・豊かな教養、人間性、社会性を兼ね備えた教師 ・教育に対する情熱と教育者として強い使命感をもって取り組む教師 ・子ども理解に優れ、教育の専門家として知識・技能を備えた教師 2 採用方法 ・広報、町HPで募集し、1月に選考試験(1次、2次)を実施し、小学校2名、中学校1名の教員を採用した。

事業効果	年 度	平成26年度		
		項目(単位)	七戸小学校 1名	
	配置校・配置人数	天間西小学校 1名		
		七戸中学校 1名		

事業評価	評 価 項 目			評 価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い	B 町民ニーズは低い(ない)	A
②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである	B 町が行う必要性は薄れている(ない)	A	
	(Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他			
③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている	B 成果は上がっていない	A	
④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている	B 公平に配分されていない	A	
⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない	B コスト削減の余地はある	A	
	(Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他			
⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%)	B (50%)	A	
	優先性が高い	低い		
評価の説明	各校の教育課題を解決するため、人員を配置した。事業開始初年度であるが、配置校及び保護者からの評価も高く、事業の継続及び人員増が望まれる。			

今後の取組・課題 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	平成27年度は中学校1名増とし、小学校2名、中学校2名を配置。各校において1学級増の町独自による少人数学級編制を実施する。事業継続に向け、人材の確保が課題となる。募集方法や時期についても検討が必要である。
---	--

# 事業評価シート

事業細目番号	1(1)②	担当課	学務課	担当者	田村 教男
事業名	臨時講師配置事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)				
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
	一般財源				

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	少人数学級編成を実現するため、希望する学校へ非常勤講師を派遣して、児童生徒1人1人に対して決め細かな学習指導を行うことによって、学力の向上を図る。	<input type="checkbox"/> 内容	この事業は、青森県教育委員会の事業で、町の負担はない。授業の指導のみではなく、学級指導や給食指導も行う。本年度は、あおもりっ子育てプラン21により七戸小学校へ2名、教科指導等充実事業により天間東小学校へ1名配置した。

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	配置校・人数	七小1名	七小2名、西小1名	七小2名、東小1名

事業評価	評価項目			評価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い	B 町民ニーズは低い(ない)	B
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである	B 町が行う必要性は薄れている(ない)	B
		(Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他		ア
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている	B 成果は上がっていない	A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている	B 公平に配分されていない	A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない	B コスト削減の余地はある	A
	(Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託	(エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他		
⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%)	B (50%)	C (25%)	A
	優先性が高い		低い	
評価の説明	本事業は、小中学校を対象とした青森県教育委員会の事業である。非常勤講師を配置することによって、他の教員の事務量が減った分子供たちへの指導が充実する効果が期待できる。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	本事業は青森県教育委員会の事業であり、町の財政的負担はない。教職員の事務量が増大してきている中で、児童へのきめ細かな学習指導を行う上で非常に有効な事業であり、今後も県に対して要望・申請していきたい。
----------	--	---

# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	1(2)①	担当課	学務課	担当者	盛田一成
事業名	教育奨励賞				

事業費	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	417	400	296	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町 債			
一般財源	417	400	296		

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	園児・児童生徒及び教職員で、文化活動・スポーツ活動の振興に寄与した者及び善行著しい者を表彰することを目的とする。	<input type="checkbox"/> 内容	表彰基準に該当する者を学校長及びスポーツ少年団の長から推薦してもらい、その中から教育委員会が審査し、各賞を決定する。 表彰式は2月下旬に柏葉館・中央公民館(交互)において実施。
------	-----------------------------	--	-----------------------------	---

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	指導者賞	1名(天間東小教諭)	該当者なし	該当者なし
	最優秀賞	個人の部2名	個人の部2名	個人の部6名
	優秀賞	個人の部21名、団体の部3団体	個人の部27名、団体の部2団体	個人の部23名、団体の部4団体
優良賞	個人の部68名、団体の部11団体	個人の部82名、団体の部11団体	個人の部43名、団体の部8団体	

事業評価	評 価 項 目			評 価
	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)			A
	②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他			A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない			B
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない			A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他			B (イ)
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い			B
評価の説明	児童・生徒等の文化活動、スポーツ活動の競技力が向上しているとともに、受賞が励みになっている。			

今後の取組・課題	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他(	平成26年度は、現状と表彰基準が整合しないものもあったため、規則等の一部見直した。大会規模の判断が難しいことや少子化が進む中、選考基準をこれまでどおりでよいかさらに検討する余地はある。
----------	--	--

# 事業評価シート

事業細目番号	1(2)②	担当課	学務課	担当者	上野 司
事業名	教育福祉援助基金給付事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	1,500	1,500	1,500	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源		1,500	1,500	1,500	

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	高等学校・高等専門学校へ進学し、勉学に意欲的に取り組み、他の模範となる生徒に対し、七戸町民として自覚と誇りを持ち学業に励んでもらうために、入学祝金として奨学金を授与する。	<input type="checkbox"/> 内容	出願資格は、七戸町民で、七戸町内の中学校第3学年に在学し、願書提出翌年度に高等学校・高等専門学校へ進学する者で、学業優秀な者(成績評定が3.5以上)であること。※平成24年度から、「若しくは経済的な理由で就学が困難と認められる者でなければならぬ。」の文言をしおりから削除した。

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	給付金額	50,000円	50,000円	50,000円
	給付者数	30人	30人	30人

事業評価	評価項目			評価
	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)			A
	②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他			A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない			A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない			A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他			A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い			A
評価の説明	本事業は保護者から大変喜ばれている。昨年度出願資格の見直しが必要であるとの指摘を受けたことから、運営委員会にて話し合いを持った。その結果、平成24年度から、「若しくは経済的な理由で就学が困難と認められる者でなければならぬ。」の文言をしおりから削除した。あくまで成績優秀な者に対して給付し、同成績の者の甲乙を付けるために、経済状況を加味する形で運用することに決定した。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	基金運営委員会で、奨学金給付の当初は成績優秀な生徒に対し給付するということから始まったはずなので、出願資格を再検討すべきと話があったことから、平成24年度に見直しを図った。見直し後の運用方法が現状に適用しているかどうか見極めながら次年度以降運用していくべきであると考えている。
----------	--	--



# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	1(2)④	担当課	学務課	担当者	盛田 一成
事業名	七戸町学校おもしろ事業費補助金事業				

事業費	年 度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	決算額(千円)		—	—	1,200
	財源内訳	国・県支出金	—	—	
		その他	—	—	
		町 債	—	—	
一般財源		—	—	1,200	

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	<input type="checkbox"/> 内容
	児童生徒の「生きる力」をはぐくむため、教育活動・学校行事(文化芸術事業・体育事業等)などの学校教育課程に位置づけられる教育活動を推進し特色ある学校づくりを目的とする。	各小中学校が、通常の授業では得ることのできない教育活動を企画し、予算の範囲内において、学力向上を掲げる教科の教材費や専門的な知識・技術を有する外部講師に対する謝礼金等各学校において柔軟な事業実施した。

事業効果	年 度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)				
	対象小学校件数		—	—	4校
	小学校補助金額		—	—	690,000円
	対象中学校件数		—	—	3校
中学校補助金額		—	—	510,000円	

事業評価	評 価 項 目			評 価	
	事 業	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い                      B 町民ニーズは低い(ない)			A
		②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである                  B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他			A
		③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている                  B 成果は上がっていない			B
	評 価	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている              B 公平に配分されていない			B
		⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない            B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他			B (イ)、(オ)
		⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)                      B (50%)                      C (25%) 優先性が高い                                      低い			B
価 値	評価の説明 各校からは、学校行事等を自由に計画できることから好評を得ている事業である。学校の規模(児童生徒数等)により補助金の配分をしているわけではないので公平性にも課題がある。各校で実施された事業が「特色あるもの」につながるかどうかはまだ判断するには難しい。				

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他(                      )	<p>本事業は、平成26年度からの事業で、現時点で本事業の目的を達成できているかどうか判断するのは難しい。各学校からの事業継続の要望は大きいですが、各学校の特色を出すための手段が補助金形式がよいのかどうかも含め今後の検討を重ねていく必要がある。</p>
----------	---	--

# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	1(3)①	担当課	学務課	担当者	千葉 愛華
事業名	学校検診事業				

事業費	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	決算額(千円)		1,669	1,557
財源内訳	国・県支出金			
	その他			
	町 債			
	一般財源	1,669	1,557	1,547

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	学校保健安全法に基づき、健康な学校生活を送れるように検診を実施し、疾病の予防や健康づくりの意識を高める。	<input type="checkbox"/> 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目の疾病および異常の有無</li> <li>・耳鼻咽頭疾患の異常の有無</li> <li>・心臓の疾病及び異常の有無(小1・4年生、中1年生)</li> <li>・尿・貧血検査</li> <li>・寄生虫卵の有無等(1年生～3年生)</li> </ul>
------	-----------------------------	--	-----------------------------	---

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)	(人)		
眼科検診		646	670	566
耳鼻科検診		1,187	1,135	1,108
尿検査		1,189	1,128	1,157
心電図検査		393	343	359

事業評価	評 価 項 目			評 価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)		
②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他			A
③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない			A
④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない			A
⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他			A
⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い			A
評価の説明	学校保健安全法に基づく事業であり、適正、効率的に実施している。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	眼科検診は眼科医の不足等により1・3・5年生の検診である。他の学年は問診票での対応(問診票で異常のある児童・生徒は検診を実施)である。眼科医や近隣市町村との協議が必要であるが全員検診を受けられるような体制ができればよいと思う。平成27年度は小学4年生以上を対象に色覚検査を再び取り入れる。また、耳鼻科検診はレンタル器具を使用し、検診の際に看護師がくる手間が省け、時間短縮等の体制を改善していく予定。
----------	--	---

# 事業評価シート

事業細目番号	1(3)②	担当課	学務課	担当者	千葉 愛華
事業名	七戸町学校保健会補助事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	200	200	200	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源	200	200	200		

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	七戸町内の幼稚園・保育園・小学校及び七戸高校・七戸養護学校の児童・生徒の健康増進を図る。また、養護教諭、保健主事の資質向上を図る。	<input type="checkbox"/> 内容	①学校保健衛生の施策に対する協力 ②保健衛生思想の普及啓発 ③学校保健に関する調査研究・事業計画および実践 ④学校関係者の指導および研修 ⑤学校保健施設の助成 ⑥学校保健資材の斡旋 ⑦家庭における保健思想の啓発 ⑧学校給食の実施・促進及び管理指導
------	-----------------------------	---	-----------------------------	---

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	全国学校保健主事・学校保健研究大会研修	山形市「生きる力の中心にあるもの」	秋田市「青少年の健康危険行動と防止教育」	大分県「養護教諭の専門性を活かした『生きる力』を育む健康教育の進め方」
	七戸町学校保健研究大会	西小「視力低下を予防しよう」～2年間の実践をとおして～	七中「性に関する指導について」～総合的な学習の時間を通して～	七小「姿勢について考えよう!」～2年間の実践を通して～
	保健主事研修会	アロマで作るリラックススペース	ハーブを知ろう	7月:体の歪みチェックの仕方と矯正の方法
〃			1月:普通救命講習会	

事業評価	評価項目			評価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他		A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない		A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない		A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他		A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い		A
評価の説明	全国大会研修・保健主事研修等に積極的に参加し、健康管理の仕方や健康教育のあり方等に取り組んでいる。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	児童生徒が直面する様々な心身の健康問題に適切に対処し、解決していくためには学校、家庭、地域が連携して取り組んでいく必要があるため、学校保健会は今後も継続していく必要がある。
----------	--	--

# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	1(3)③	担当課	学務課	担当者	盛田 一成
事業名	七戸町児童生徒対外遠征費補助事業				

事業費	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決 算 額(千円)	2,190	2,126	1,894	
	財 源 内 訳	国・県支出金			
		そ の 他			
		町 債			
	一 般 財 源	2,190	2,126	1,894	

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	小・中学校における部活動の推進及び競技力の向上並びに児童生徒の安全確保を図るとともに、保護者等の経済的負担を軽減する。	<input type="checkbox"/> 内容	県大会以上の大会へ参加した天間西小学校1団体、七戸中学校7団体、天間館中学校3団体、榎林中学校2団体の延べ32件に交通費や宿泊費、参加料等を補助した。 補助した人数は述べて児童生徒256人、監督9人、コーチ23人、引率者41人であった。 うち全国大会へ1個人、東北大会へ13個人、1団体が出場した。
------	-----------------------------	---	-----------------------------	---

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	小学校対象件数	0件	0件	1件
	小学校補助金額	0円	0円	10,000円
	中学校対象件数	29件	24件	31件
	中学校補助金額	2,189,226円	2,125,935円	1,883,750円

事業評価	評 価 項 目			評 価
	①	必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②	妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他		A
	③	有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない		B
	④	公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない		A
	⑤	効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他		B (イ)
	⑥	優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い		A
	評価の説明	本事業は、児童生徒の体育活動及び文化活動を推進するとともに、計画的な交通手段を確保することから、児童生徒の安全確保を図ることができる。また、東北大会、全国大会となると交通費及び宿泊費負担が大きくなることから、保護者及び指導者等の経済的負担を軽減することができる。		

今後の取組・課題	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	本事業は、合併前の旧天間林村の事業を引継いで実施していたが、平成23年度及び平成25年度で現状に則した要綱へ改正を行っている。保護者及び学校側から好評される事業であるが、引き続き運用の見極めながら事業を継続したい。
----------	--	---

# 事業評価シート

事業細目番号	1(3)④	担当課	学務課	担当者	佐々木 智恵子
事業名	要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業				

事業費	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	15,582	5,606	6,304	
	財源内訳	国・県支出金	128	145	38
		その他			
		町 債			
一般財源		15,454	5,461	6,342	

事業概要	□ 目的	□ 内容
	<p>経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費等を援助することにより、義務教育の円滑な実施を図ることを目的とする。</p>	<p>経済的に困窮し、就学困難な児童生徒の保護者から就学援助申請があった場合、七戸町就学援助費支給要綱に基づき世帯の経済状況を審査し、認定する。援助対象費目は、学用品費、通学用品費、新入学児童生徒用品費、校外活動費及び修学旅行費。なお、要保護児童生徒に関しては、修学旅行費を支給する。</p>

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	援助費支給額実績(円)	15,581,160	5,606,445	6,303,134
	準要保護支給対象者	175	153	141
要保護支給対象者	13	4	9	

事業評価	評 価 項 目			評 価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他		A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない		A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない		A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他		A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い		A
評価の説明	<p>経済的困窮世帯が多く、就学援助の必要性は極めて高い。 25年度から町の給食費補助事業が開始されたことにより、給食費は本事業の補助対象外となった。</p>			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	<p>社会経済状況を反映して、困窮世帯が増加している。今後も児童扶養手当受給者の情報等を担当課と連携を図りながら進めていきたい。また、認定基準を明確にするよう事務取扱要領等の整備が必要と思われる。</p>
----------	--	--

# 事業評価シート

事業細目番号	1(3)⑤	担当課	学務課	担当者	佐々木 沙也香
事業名	学校給食費給付金交付事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	-	53,991	54,827	
	財源内訳	国・県支出金	-		
		その他	-		
		町債	-		
一般財源		-	53,991	54,827	

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	小・中学校の学校給食費用を保護者に支給し、経済的負担を軽減し、少子化対策及び子育て支援の充実に図るため。	<input type="checkbox"/> 内容	町内外の小・中学校に在籍する児童生徒の保護者で、町内に住所を有する者を対象とし、学校給食費に相当する額を給付。生活保護受給者、町外に住所のある区域外就学者の保護者は対象外。
------	-----------------------------	--	-----------------------------	--

事業効果	年度 (単位:人)	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	小学校 (町内4校、町外1校)	/	695	699
	中学校(町内3校、町外4校)	/	440	406

事業評価	評価項目			評価
	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)			A
	②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他			A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている B 成果は上がっていない			B
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている B 公平に配分されていない			A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他			A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%) B (50%) C (25%) 優先性が高い 低い			B
評価の説明	町外の小・中学校在籍児童生徒の保護者へ周知を徹底し、申請漏れの無いようにした。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	保護者の子育てに関する経済的負担は軽減されているが、少子化対策への直接的な解決には至っていないと思われるため、今後の状況を見て、事業の目的について見直す必要がある。
----------	--	--

事業評価シート

事業細目番号	1(4)①	担当課	学務課	担当者	佐々木 智恵子
事業名	特別支援教育支援員配置事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	12,954	15,931	16,361	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源		12,954	15,931	16,361	

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	<input type="checkbox"/> 内容
	小・中学校の通常学級に在籍する学習障害、注意欠陥多動性障害、情緒障害など、特別な支援を必要とする児童生徒の学習指導、安全確保、生活指導等の支援を行うことを目的に、各小・中学校に特別支援教育支援員を配置する。	学校長の指揮監督のもと、学級担任と連携し、 ①基本的な生活習慣確率のための日常生活上の介助 ②発達障害の児童生徒に対する学習支援 ③学習活動、教室間移動等における介助 ④児童生徒の健康・安全関係 ⑤校外行事や運動会等、各種行事における介助等の支援を行う。

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	配置校・支援員数	小学校4校・4名	小学校4校・8名	小学校4校・9名
		中学校3校・5名	中学校3校・5名	中学校3校・5名
			幼稚園 1名	

事業評価	評価項目			評価	
	事業	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い	B 町民ニーズは低い(ない)		A
		②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである	B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他		A
		③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている	B 成果は上がっていない		A
		④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている	B 公平に配分されていない		A
		⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない	B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他		A
		⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)	B (50%)	C (25%) 優先性が高い 低い	A
評価の説明	教育上特別な支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあるため、障害に応じた適切な教育を実施する上で本事業は重要となっている。平成26年度から、学校等の要望及び状況により小学校に1名、幼稚園に1名増員した。				

今後の取組・課題  <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	本事業の重要性は今後さらに増していくと思われることから、適切で効果的な支援を実践していくために、専門知識や具体的な支援技術を習得する研修の場を提供する必要がある。このことから、七戸町教育振興会や中部上北広域事業組合教育委員会等での研修会を利用して、支援員の資質向上に努めていく。
---	---

# 事業評価シート

事業細目番号	1(4)②	担当課	学務課	担当者	佐々木 智恵子
事業名	学校生活相談員配置事業				

事業費	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	1,447	2,456	3,812	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町 債			
一般財源	1,447	2,456	3,812		

事業概要	□ 目的	□ 内容
	生徒の悩みや不安などを解消するとともに、いじめや不登校等の未然防止、早期発見、・早期対応を教職員と協力しながら、不登校生徒や別室当校生徒、保護者への支援を行うことを目的とする。	学校長の指揮監督のもと、生徒の悩みや不安解消のため、個別にカウンセリングを実施したり、いじめや不登校生徒の指導を行うため、次の支援を行う。 ①生徒の話し相手・悩み相談 ②不登校生徒への支援 ③家庭・地域と学校の連携支援 ④その他学校の教育相談の支援 等

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	配置校・支援員数	七戸中学校・1名	七戸中学校・2名	七戸小学校・1名
		天間館中学校・1名	天間館中学校・2名	城南小学校・2名
	榎林中学校・1名	榎林中学校・1名	七戸中学校・1名	

評 価 項 目		評 価
事業評価	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)	A
	②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他	A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている B 成果は上がっていない	A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている B 公平に配分されていない	A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他	A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%) B (50%) C (25%) 優先性が高い 低い	A
評価の説明	生徒の不登校やいじめ等問題行動の状況は、依然として憂慮すべき状況にあることから、本事業の必要性は高まっている。学校生活相談員は、退職教員等を任用しているが、生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることができるよう、第三者的な存在として活動している。平成26年度は小学校へも配置した。	

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	説明	今年度より小学校への配置を実施。児童へも徐々に受け入れられ、気軽に悩みを話したり、ストレスを和らげる場所として利用されている。また、深刻さを増す問題行動等に対応するため今後も継続した配置が必要である。 なお、平成26年度からは、学校の状況に応じて必要があれば複数校を兼務できるよう柔軟な体勢作りをしていきたい。
----------	---	----	--

# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	1(4)③	担当課	学務課	担当者	盛田一成
事業名	就学指導委員会				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)				
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
	一般財源				

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的		<input type="checkbox"/> 内容	
		障害のある児童生徒の適切な就学を図るため、その児童生徒の可能性を最大限に伸ばしていく教育法をさぐっていく。		東北町と共同設置の中部上北就学指導委員会 (1)障害のある修学予定児、児童及び生徒の適切な教育措置に係る総合診断 (2)就学に係る教育相談 (3)その他、中部上北広域事業組合教育委員会教育長が必要と認めた者

7	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	対象児童生徒数	14	9	21
	入級判定者数	7	8	17
	実入級者数	4	7	11

事業評価	評 価 項 目			評 価
	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)			A
	②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他			A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない			A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない			A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他			A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い			A
評価の説明	早期からの対応として、保健師からの情報提供、幼稚園・保育園からの情報提供により関連課との連携を行っている。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他(	保護者や子どもを取り巻く地域の人たちの発達障害についての理解、就学指導に関する理解啓発が必要である。
----------	--	--



# 事業評価シート

事業細目番号	1(5)②	担当課	学務課	担当者	千葉 愛華
事業名	青森県国際交流員派遣事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)				
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
	一般財源				

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	県内小・中・高等学校等での国際理解教育における外国の文化及び生活の紹介等を通じて異文化理解を深めることを目的とする。	<input type="checkbox"/> 内容	「総合的な学習の時間」の国際理解教育として、青森県所属の国際交流員を希望校へ派遣している。 県所属の国際交流員は、英語圏(米国)、ロシア、中国、韓国の4名。
------	-----------------------------	--	-----------------------------	---

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	派遣学校	城南小学校	天間西・城南小学校	七戸・城南・天間西小学校
	派遣時期	6月・9月	7月(西小)6月・9月(城南)	10月(七小)6月・9月(城南)7月(西小)
	国際交流員	中国	ロシア	韓国(七小・城南・西小)・ロシア(七小)

事業評価	評価項目			評価
	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)			B
	②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他			B (ア)
	③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない			A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない			A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他			A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い			A
評価の説明	国際理解を深める機会、また英語圏以外の外国文化にふれる機会として、県国際交流員の派遣事業を活用した。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	毎年各小・中学校へ県国際交流員の派遣事業について周知するとともに、希望調査を実施しており、平成27年度も3校に国際交流員が派遣される。英語圏以外の外国文化にふれる機会として、今後も事業の周知及び活用を推進し、町の子どもたちに国際人としての感覚を少しでも養ってもらえるように努めたい。
----------	--	---

# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	1(6)①	担当課	学務課	担当者	上野 司
事業名	学校設備ICT化事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)			12,755	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源			12,755		

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	情報社会の急速な発展と教育環境の変化に対応するため、町内小・中学校の教育用PCを次世代端末に更新し、また、これを最大限に活用できるよう施設内の通信環境整備を強化する。	<input type="checkbox"/> 内容	平成26年度は、町内小学校4校の教育用PCを次世代機器(タブレット等)に更新するとともに、支援ツールとして電子黒板大型モニターを導入した。また、これらの機器を校内のあらゆる場所で活用できるよう、校内の無線LAN環境を整備した。
------	-----------------------------	---	-----------------------------	---

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	実施校数			4校
	教育用PC更新業務委託			12,754,800円

事業評価	評 価 項 目			評 価
	①必要性(町民が必要としていますか)			A
	A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)			
	②妥当性(町が行うべきですか)			A
	A 町が行うべきである B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他			
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)			A
	A 成果は上がっている B 成果は上がっていない			
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)			A
A 公平に配分されている B 公平に配分されていない				
⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)			A	
A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他				
⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)			A	
A (75%) B (50%) C (25%) 優先性が高い 低い				
評価の説明	町内の学校施設における教育用PCは、経年が進んでおり、使用に耐えない状況となっている。より良い教育環境の促進と、情報化社会に適応する人材を育成するため、PCの更新は必須である。授業支援ツールとして最大限に活用できるよう、タブレット端末を導入し、校内いずれの場所でも使用できるよう、無線通信環境も整備した。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	平成27年度より保守管理業務委託を行っている(予算額1,102千円)。通信環境やタブレット端末の導入など、ハード面での整備は図られたが、ソフト面はほぼ未整備であるため、今後はデジタル教材等の購入・配信を進める必要がある。また、平成28年度には町内中学校におけるPC更新事業を計画しており、現在その仕様について検討を進めている。
----------	--	---

# 事業評価シート

事業細目番号	1(7)①	担当課	学務課	担当者	千葉 愛華
事業名	七戸町教育振興会補助事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	2,388	2,459	2,400	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源		2,388	2,459	2,400	

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	幼児児童生徒の教育文化及び体育の振興と教職員の資質向上に係る事業を行い、教育の振興を図る。	<input type="checkbox"/> 内容	○幼児・児童・生徒の教育、文化及び体育の振興事業 理科工作標本展、スポーツ交流会、小・幼・保育園交流会等 ○教職員の資質向上事業 ふるさと研修、教育講演会、研究活動等
------	-----------------------------	---	-----------------------------	--

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	理科工作標本展出品数	148	177	132
	スポーツ交流会	ドッジビー大会	ドッジビー大会	
	教育講演会	発達障がい子どもから学ぶ、私たちの指導法の課題	発達障がい子どもへの具体的指導の実際について	学校におけるメンタルヘルスの実践-実例検討より-
先進校等研修(幼・保育園)実施	7校・7(園)	7校・7(園)	7校・7(園)	

事業評価	評価項目			評価
	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)			A
	②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他			A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない			A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない			A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他			A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い			A
評価の説明	七戸町の教育の重点目標達成のために、研修委員会では、教職員の教育観の確立を図るとともに指導過程や指導技術の改善向上を目指す研究、研修に取り組んだ。また、各校(園)でそれぞれ先進校・研究会へ参加し、研修をすすめた。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	本町の保育園から高等学校まで、14の教育機関が縦、横の連携を充実させ、その活動を通して教育水準を高めていく組織であることから、今後も継続すべきと考える。事業内容にあった予算を見直す必要があると思われる。
----------	--	---

# 事業評価シート

事業細目番号	1(7)②	担当課	学務課	担当者	田村 教男
事業名	ふるさと研修事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	47	54	22	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他	22	29	
		町債			
一般財源	25	25	22		

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	青森県教育委員会が定める初任者研修実施要領に基づき、七戸町教育委員会研修として、七戸町教職員初任者及び赴任者を対象に七戸町の教育課題や文化、歴史等について理解を深めることを目的に開催した。	<input type="checkbox"/> 内容	七戸町発展のあゆみや産業、文化について研修した。今年度は、文化交流センター、見町観音堂、ひげ塚公園、史跡七戸城跡、鷹山宇一記念美術館、中野の庚申碑と大イチョウ、天間館一里塚、天間館神社(こうもり神社)、史跡二ツ森貝塚、蒼前一里塚、早川用水功労者碑等を研修、見学した。
------	-----------------------------	--	-----------------------------	---

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	参加者: 教職員	19人	25人	20人
	教育委員会	4人	4人	3人
	合計	23人	29人	23人

事業評価	評価項目			評価
	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)			B
	②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他			A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない			A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない			A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他			A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い			A
評価の説明	七戸町へ赴任してきた教職員を対象にした研修で、町内の文化財等を実際に見学できたことは、教育課題等の理解を深めるうえで大きな成果であった。また、各学校の枠を超えて一緒に研修、交流できたことも大きな成果であった。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	研修場所が広範囲にわたるため、施設間等の移動に時間を要し、十分な研修、見学時間がとれなかった。今後は、本研修が児童生徒の学習活動に役立つよう、講師及び参加者から意見を聞き、内容を充実していきたい。
----------	---	--



## 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	2(2)①	担当課	生涯学習課	担当者	二宮 渉
事業名	ふるさと学びあい推進事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	—	—	319	
	財源内訳	国・県支出金	—	—	
		その他	—	—	
		町債	—	—	
一般財源		—	—	319	

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	<input type="checkbox"/> 内容
	将来の七戸町を担う子どもたちに、自分の生まれ育った「ふるさと」の自然、歴史、文化、産業、生活などについて学習し、理解を深めるための機会を与え、学校や家庭生活では体験できない様々な活動プログラムを提供し、子どもたちの視野を広げ、友情を深め、自立心を養うことを目的とする。	①郷土学習事業 七戸町の歴史について学ぶため、ニッ森貝塚や七戸城跡の学習を行った後、町と関係の深い九戸城や是川遺跡等の見学を一泊二日で行った。 ②自然ふれあいキャンプ事業 七戸町の自然に触れるため、東八甲田家族旅行村で一泊二日のキャンプを行った。 ③キャリア教育事業 七戸町の産業について学ぶため、町内の事業所で職業体験を行った。

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	参加者数(郷土学習事業)			11
	(キャンプ事業)			10
(キャリア教育事業)			4	

評 価 項 目			
事業評価	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他		A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている B 成果は上がっていない		A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている B 公平に配分されていない		A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他		B (エ)
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%) B (50%) C (25%) 優先性が高い 低い		A
評価の説明	子どもたちが、学校生活で学んだことを活かし、さらに一歩進んだ学習をすることができる場と、今まで気づくことのなかった七戸町の良さを知ることのできる機会を提供することができた。 自然ふれあいキャンプについては、かだれ田舎体験協議会や、東八甲田家族旅行村が提供しているプログラムと重なっている部分も多いので、連携した効率的な事業実施のための検討が必要である。		

今後の取組・課題	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	子どもを対象に行っている他の事業や学校行事等との日程調整を密に行い、できるだけ多くの子どもが参加できるように配慮していく。 また、学習内容についても、各学校との連携をしながら、より魅力的なプログラムを提供できるよう検討する。
----------	--	---

# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	2(3)①	担当課	生涯学習課	担当者	今泉 今日子
事業名	成人式開催事業				

事業費	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	399	461	427	
	財源内訳	国・県支出金			
		そ の 他			
		町 債			
一般財源		399	461	427	

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	町の将来を担う新成人の門出を祝うとともに、成人としての自覚を促し、さらなる成長を期する。	<input type="checkbox"/> 内容	①式典(国歌斉唱、町民憲章唱和、式辞、恩師からのメッセージ、記念品贈呈、誓いの言葉) ②記念撮影 ③新成人有志による「思い出ムービー」上映

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	対象者数	226人	206人	220人
	参加者数	127人	129人	143人
	参加率	56.19%	62.62%	65%

事業評価	評 価 項 目			
	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)			A
	②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他			A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている B 成果は上がっていない			A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている B 公平に配分されていない			A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他			A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%) B (50%) C (25%) 優先性が高い 低い			A
評価の説明	式典は静粛かつ厳粛に行われた。また、今年度から新成人による思い出ムービーを式典の前に上映したことにより、小学校や中学校での思い出に触れ、以前よりも印象に残るものになった。 式典には、成人としての自覚をもつてのぞんでおり、成果は上がっている。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	成人式を、新成人にとってより思い出に残る行事にできるよう、新成人を中心とした実行委員会を組織し、運営について検討していく。この実行委員会には、これから成人を迎える18歳・19歳の若者にも加入してもらうことで、継続的な活動ができる仕組みづくりを行う。
----------	--	--

事業評価シート

事業細目番号	2(4)①	担当課	生涯学習課	担当者	中村 真理
事業名	家庭教育支援総合推進事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	1,081	598	523	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源		1,081	598	523	

事業概要	目的	内容
	<p>家庭における子育てやしつけなどを見つめ直すきっかけを作るため、町内の保育園(子育て支援センター)及び小・中学校において親等が参加する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会の提供を行う。</p>	<p>・保育園(子育て支援センター)、小中学校での子育て講座、家庭教育講座の実施。 ・絆でつながる家庭教育支援セミナー活動実践プログラムの実施。</p>

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	実施講座数	38講座	39講座	34講座
	参加者数	1,634人	1,724人	1,323人
	実践プログラム等			1回(打ち合わせ等3回)

事業評価	評価項目			
	①必要性(町民が必要としていますか)			
	A 町民ニーズは高い	B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②妥当性(町が行うべきですか)			
	A 町が行うべきである	B 町が行う必要性は薄れている(ない)		A
	(Bの場合)	(ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他		
③有効性(期待された効果は上がっていますか)				
A 成果は上がっている	B 成果は上がっていない		A	
④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)				
A 公平に配分されている	B 公平に配分されていない		A	
⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)				
A コスト削減の余地はない	B コスト削減の余地はある		A	
(Bの場合)	(ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他			
⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)				
A (75%)	B (50%)	C (25%)	A	
優先性が高い	低い			
評価の説明	<p>家庭教育力の低下が指摘されている中、保護者が多数集まる参観日等の機会を利用して実施する子育て講座・家庭教育講座・思春期講座等の実施は非常に重要である。また、町内の全保育園(子育て支援センター)・全小中学校で実施しており、講師も町内在住の指導者を活用するなど、学校・家庭・地域の連携が図られてきている。絆でつながる家庭教育支援セミナー活動実践プログラムでは、食育を学びながら家族で健康について話し合うきっかけづくりとなった。</p>			

今後の取組・課題	<p>■ 継続 □ 充実 □ 廃止 □ 縮小 □ 統合 □ 完了 □ 引続き見直し検討 □ その他( )</p>	<p>保育園・子育て支援センター・学校において、親子で家庭教育講座等に参加する機会は重要であり、各施設において保護者のニーズにできるだけ応じた講座を実施している。各施設や学校では、今後もこの事業を活用して講座等の実施を考えているので、予算の確保に努める。</p>
----------	--	---

# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	2(4)②	担当課	生涯学習課	担当者	今泉 今日子
事業名	放課後子ども教室推進事業				

事業費	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	2,010	2,039	1,902	
	財源内訳	国・県支出金	1,340	1,310	956
		そ の 他			
		町 債			
	一般財源	670	729	946	

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	<input type="checkbox"/> 内容
	小学校児童を対象とし、放課後や週末・長期休暇等に小学校の 余裕教室や児童館等を利用して、地域住民の参画を得て、子ども たちの安全で健やかな居場所づくりを推進する。	・子どもたちの安全管理を図る者(安全管理員)を全小学校区に配置。 ・放課後対策事業の総合的な調整役を担う者(地域コーディネーター)を 七戸・天間林各地区に配置。 ・子どもの放課後対策事業の運営方法等を検討する運営委員会の設置。

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	のべ開催日数	467日	479日	443日
	のべ児童参加者数	27,774人	25,122人	28,854人
	地域コーディネーターの配置	2人	2人	2人
	安全管理員の配置	5人	5人	4人

評 価 項 目		
事業 評価	①必要性(町民が必要としていますか)	A
	A 町民ニーズは高い	B 町民ニーズは低い(ない)
	②妥当性(町が行うべきですか)	A
	A 町が行うべきである	B 町が行う必要性は薄れている(ない)
	(Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他	
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A
A 成果は上がっている	B 成果は上がっていない	
④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A	
A 公平に配分されている	B 公平に配分されていない	
⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A	
A コスト削減の余地はない	B コスト削減の余地はある	
(Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託		
(エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他		
⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A	
A (75%) B (50%) C (25%)	優先性が高い	低い
評価の説明	教育委員会部局(生涯学習課)と福祉部局(社会生活課)と連携し、学習支援や遊びを通しての異学年交流や様々な体験活動等、子どもの放課後対策として効果的な事業である。また、地域の住民や指導者を活用することで地域との連携も図られている。	

今後の取組・課題	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	地域コーディネーター及び安全管理員の人件費について、町は総額の1/3を負担し、国と県が2/3を補助金として負担しているが、補助金額の縮小のため自主財源の割合が増加している。また、現在は子ども教室を児童館、学童保育クラブと連携して開催しているが、町では平成26年度より順次、児童福祉施設の建設及び民間への管理委託を計画しているため、子ども教室の開催場所、運営方法等について検討する。
----------	--	--

# 事業評価シート

事業細目番号	2(5)①	担当課	生涯学習課	担当者	二宮 渉
事業名	七戸町子ども会育成連絡協議会補助金				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	660	660	600	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源		660	660	600	

事業概要	□ 目的	□ 内容
	町内子ども会相互の連絡・連携に努め自主的な活動を育成し、もって子ども会の健全な育成と福祉の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単子支援育成事業</li> <li>・児童館子どもまつりの開催</li> <li>・世話人研修会の開催</li> <li>・ドッジビー大会の開催</li> <li>・ジュニアリーダーの育成 等</li> </ul>

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	世話人研修会の開催	45人	県の研修と併催	30人
	ドッジビー大会の開催	300人	213人	210人
	初級ジュニアリーダー研修会	12人	43人	20人

事業評価項目			
事業評価	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)	A
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである B 町が行う必要性は薄れている(ない)	A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている B 成果は上がっていない	A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている B 公平に配分されていない	A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある	A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%) 優先性が高い B (50%) C (25%) 低い	A
評価の説明	協議会の事業については、平日日中の活動を除き、概ね自立的な活動ができているが特定の役員への負担が大きい。また、少子化により単位子ども会の活動が低迷している。		

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	事業運営について特定の役員への負担が大きいことから、各種イベントへの参加者・協力者の育成が必要である。また、少子化により単位子ども会の活動が停滞しているので、更なる助言・サポートを行う。
----------	--	---





# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	3(1)②	担当課	生涯学習課	担当者	西野 勝夫
事業名	文化芸術鑑賞事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	決算額(千円)		837	620
財源内訳	国・県支出金			
	その他			
	町債			
	一般財源	837	620	176

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	<input type="checkbox"/> 内容
	<p>子どもたちが普段、触れることの少ない様々な芸術を鑑賞することで、豊かな人間性を育み、町の文化・芸術活動の振興を図ることを目的に、各種文化・芸術事業を実施する。</p> <p>文化・芸術に寄与する事業の開催または芸術鑑賞                  ○人形劇鑑賞 「かぐや姫」・・・道ノ上・天間みどり・榎林各保育園(160名)、「あっぱ・うっぱ・おっぱ～カップのこどもたち」「きたかぜとたいよう」・・・七戸幼稚園、城北・明照・城南各保育園(203名)                  ○森のコンサート 城南小・七中・七高・八甲田吹奏楽団等(73名)による地域住民向け吹奏楽コンサート(来場者100名)</p>	

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
鑑賞人数		1,129人	1,025人	463人

事業評価	評 価 項 目			結果
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い	B 町民ニーズは低い(ない)	A
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである	B 町が行う必要性は薄れている(ない)	A
		(Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他		
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている	B 成果は上がっていない	A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている	B 公平に配分されていない	A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない	B コスト削減の余地はある	A
	(Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他			
⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%)	B (50%)	C (25%)	A
	優先性が高い <span style="margin-left: 200px;"></span> 低い			
評価の説明	普段見る機会の少ない、生の舞台を鑑賞することは子どもたちにとって良い経験である。保育園・幼稚園では人形劇鑑賞等、子どもたちの成長に合った鑑賞を行うことにより、豊かな人間性を育み、また鑑賞のマナーを学ぶ等、非常に有意義な事業になっている。			

今後の取組・課題  <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他(                      )	子どもにとって有意義な事業であるため、さらなる鑑賞内容の充実に努め事業を実施する。
---	---

## 事業評価シート

事業細目番号	3(1)③	担当課	生涯学習課	担当者	二宮 渉
事業名	オータムフェスタ(文化部門)開催事業				

事業費	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	決 算 額(千円)	1,080	1,081	910
	財源内訳			
	国・県支出金			
	そ の 他	1,080	1,081	910
	町 債			
	一般財源			

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的 町経済団体並びに文化団体等が一丸となり、まつりイベントを開催することで、地域産業及び文化等の振興発展に寄与する。生涯学習課は文化部門の事務局を担当している。	<input type="checkbox"/> 内容 舞台部門と展示部門を七戸町中央公園屋内スポーツセンターで開催。文化団体、学習サークル、一般作品、保育園、その他各種団体の作品の展示、舞台上で学習成果発表を実施している。
------	---	---

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	参加団体数	42	47	34

事業評価	評 価 項 目		
	①	必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い                  B 町民ニーズは低い(ない)	A
	②	妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである                  B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合)                  (ア)国・県が行うべき                  (イ)民間で実施可能                  (ウ)その他	A
	③	有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている                  B 成果は上がっていない	A
	④	公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている                  B 公平に配分されていない	A
	⑤	効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない                  B コスト削減の余地はある (Bの場合)                  (ア)受益者負担                  (イ)事業の簡素・効率化                  (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携                  (オ)適切な財源の選択                  (カ)その他	B (イ)
	⑥	優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)                  B (50%)                  C (25%) 優先性が高い    低い	A
	評価の説明	展示部門は、町内の文化サークル等の団体が活動の成果を披露することができる唯一の場であり、町の文化振興のために必要な事業であるが、同日に開催しているそば博覧会と比較すると、来場者数が少ないことが課題として指摘されている。参加団体への謝金の支払い等の部分を見直すことにより、事業費の削減は可能である。	

今後の取組・課題	■ 継続    □ 充実    □ 廃止    □ 縮小 □ 統合    □ 完了    □ 引続き見直し検討 □ その他(                          )	町の文化振興の場を提供することは重要であるが、来場者数が少ないことにより出展者のモチベーションが低下してしまっている。出展者を集めた会議を開催し、来場者数を増やすための方策を出展者が主体となって打ち出していけるように協議する。
----------	---	---

# 事業評価シート

事業細目番号	3(2)①	担当課	世界遺産対策室	担当者	中嶋 正弥
事業名	世界文化遺産登録に向けた取り組み				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	218	290	961	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源		218	290	961	

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	<input type="checkbox"/> 内容
	<p>国史跡二ツ森貝塚が世界文化遺産登録の構成資産となったことから、登録にむけて青森県などと連携をとりながら負担金の支出や専門家会議などに出席をして、意見を求められたことや、書類作成に共同して参画している。また、現在史跡と指定されている範囲を、追加指定により範囲を広げ、埋蔵文化財の保護に努めた。</p>	
		<p>世界文化遺産の登録に向けて、二ツ森貝塚の史跡範囲を本来の遺跡の範囲に近づけるため、史跡範囲の追加指定を行うにあたり、貝塚地区住民への説明会等を行い、地域住民の理解を深めてもらった。また、各構成資産の町村で負担金を出し合いながら登録推薦書作成事業の負担金の支出をし、七戸町観光交流センターへポスター等の掲示や、専門家を招いての勉強会等を行い、町内外に対して二ツ森貝塚の啓蒙啓発に努めた。</p>

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			

評価項目		評価
事業評価	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)	A
	②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合)      (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他	A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない	A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない	A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合)      (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他	A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い	A
評価の説明	<p>世界文化遺産登録に向けて、平成20年度から本格的な専門家会議などが幾度となく開催されてきて。その中で縄文遺跡が果たして世界遺産となるのかということも議論として出ている。また日本国内に縄文遺跡が数多くあるが、なぜ北海道・北東北地方だけなのかと言われたときにはどうするのか、などの意見もある。現在構成資産が18遺跡であるが、調査の不備なものや、説明のつかないものは振り分けるように文化庁の特別委員会からも指摘を受けているので、今後の推移を見守ることとなる。</p>	

今後の取組・課題	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	<p>本事業は七戸町だけで決められるものではなく、世界文化遺産の登録に相応しい構成資産ということなので、その推移を見守りながら対応をしていくことになる。</p>
----------	--	--

# 事業評価シート

事業細目番号	3(2)②	担当課	世界遺産対策室	担当者	中嶋 正弥
事業名	二ツ森貝塚史跡公園管理業務委託				

事業費	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	450	456	658	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町 債			
一般財源	450	456	658		

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	二ツ森貝塚史跡公園の保存と整備	<input type="checkbox"/> 内容	公園内の清掃(駐車場・トイレ)、復元竪穴住居の薫蒸、園内の指定箇所及び園路等の除草作業、薪割り作業等
------	-----------------------------	-----------------	-----------------------------	--

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)	見学者	1,000人	1,000人

事業評価	評 価 項 目			評 価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他		A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 効果は上がっている      B 効果は上がっていない		B
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない		A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他		A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い		A
評価の説明	地域住民による保存・整備活動を行うことにより、史跡保存への理解や協力関係の構築が図られた。また、町の貴重な観光資源として活用されるとともに、町内小中学校において社会見学の場として活用されるなど文化財への理解を一層深められた。			

今後の取組・課題	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	昨年度まで課題とされた、除草作業に関しては、必要最低限の除草作業を地域の団体へ委託し、職員に対しての負担は軽減されている。しかし、現状でも職員による除草作業を行っているため、完全に負担がなくなっているわけではないので、今後も改善策を検討する必要があると思われる。
----------	--	---





# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	4(1)①	担当課	生涯学習課	担当者	附田真治
事業名	七戸町ジュニアスキースクール				

事業費	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	決算額(千円)		96	96
財源内訳	国・県支出金			
	その他			
	町 債			
	一般財源	96	96	128

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	<input type="checkbox"/> 内容
	スキーの基本練習を通し、技術の向上とスキーの楽しさを味あわせるとともに、健康及び体力の増進を図ることを目的とする。 また、参加者が行動をともにすることにより、望ましい人間関係を育みたい。	
	対象 町内の小学生(1年～6年) 講師 七戸町スキークラブ員 回数 4回 ※スキークラブと協力し、教室参加者はクラブ主催のスキー大会へも参加していただき成果をあげている。	

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
参加者数(延べ人数)		253名	219名	340名

評 価 項 目		評 価
事業評価	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)	A
	②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他	A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている B 成果は上がっていない	A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている B 公平に配分されていない	A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他	A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%) B (50%) C (25%) 優先性が高い 低い	A
評価の説明	アルペンスキーの講習会として町内在住の小学生1年生から6年生を対象としており、雪国の冬季間のスポーツとして重要である。また、他校の生徒との交流の場でもあり町民のニーズは高い。	

今後の取組・課題	■ 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	①各校でもスキー教室は行なっているが、機会は少なく継続が必要。
----------	--	---------------------------------

# 事業評価シート

事業細目番号	4(1)②	担当課	生涯学習課	担当者	附田真治
事業名	町民スポーツ交流会				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	決算額(千円)		200	700
財源内訳	国・県支出金			
	その他			
	町債			
	一般財源	200	700	478

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	広く町民にスポーツ・レクリエーション活動の場を提供することにより、生涯を通じたスポーツ活動への参加意欲を喚起するとともに、生涯を通じたスポーツ活動への実施を図ることにより健康保持、体力増進及び相互の交流を図ること。	<input type="checkbox"/> 内容	交流会 25年度より七戸ギネスチャレンジへ変更し誰でも気軽に参加出来る7種目にし七戸独自の記録として毎年新記録を目指し参加を募る。 対象 町民(町内会、分館単位) ※幼児から高齢者まで
------	-----------------------------	---	-----------------------------	--

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
ベタンク競技		48チーム 144名		
綱引き競技		17チーム 205名	7種目	7種目
七戸ギネスチャレンジ			15団体 282名	10団体 252名

		評価項目	評価
事業評価		①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)	A
		②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他	A
		③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない	A
		④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない	A
		⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他	A
		⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い	A
	評価の説明	参加者(チーム)にバラつきがあるため、誰でも参加できる競技を取り入れた。	

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	地域間の交流のため、広く町民が参加できるよう工夫が必要。 種目の選定と参加対象者、周知方法など検討する必要がある。
----------	--	--

# 事業評価シート

事業細目番号	4(1)③	担当課	生涯学習課	担当(記入)者	附田真治
事業名	体育協会加盟団体によるスポーツ大会				

事業費	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	3,569	3,827	4,701	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他	1,967	2,378	2,961
		町 債			
	一般財源	1,602	1,445	1,740	

事業概要	□ 目的	□ 内容
	体協所属団体による教室及び大会開催費に対する支援を行うことで、地域スポーツ活動の普及・奨励に努める。 各競技による通常の大会とは別に、広く町民を対象とした生涯にわたるスポーツライフの実現を趣旨とする。	加盟団体主催ナイターリーグ大会(フットサル・バドミントン・バスケット) 加盟団体主催大会(朝野球、壮年スポーツ大会、マラソン大会、ソフトテニス大会、剣道大会、ゲートボール大会、ボウリング大会、グラウンドゴルフ大会、町民登山) 加盟団体主催教室(水泳教室、ジュニアベースボールスクール)

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	教室・大会数	2教室・13大会	3教室・13大会	2教室等・14大会
	参加者数(人)	2,280	2,772	2,490

事業評価	評 価 項 目			評 価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他		A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている B 成果は上がっていない		A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている B 公平に配分されていない		A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他		A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%) B (50%) C (25%) 優先性が高い 低い		A
評価の説明	体協所属団体ほぼすべてが、目的に沿った事業を展開できている。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引き続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	各所属団体の事業の継続と更なる充実を目指し、関係団体に協力する。また、課題等を充分聴取する。
----------	---	--

# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	4(2)①	担当課	生涯学習課	担当者	附田真治
事業名	七戸町長杯野球・ソフトボール大会兼七戸地区防犯野球ソフトボール大会				

事業費	年 度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	決 算 額(千円)		258	217	235
	財源内訳	国・県支出金			
		そ の 他	198	153	168
		町 債			
一 般 財 源		60	64	67	

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	<input type="checkbox"/> 内容
	七戸町及び東北町管内の小・中学校の野球・ソフトボールの技術の向上と児童生徒の交流を図り相互の連帯意識を高めるとともに、心身の健全育成を図ることを目的として開催するものである。	七戸町・東北町(旧中部上北4ヶ町村)のスポーツ少年団・中学校対抗の野球・ソフトボール大会。中部上北防犯野球・ソフトボール大会の流れであり、夏休み中に開催している。

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	参加チーム数・小野球	7 チーム	6 チーム	5 チーム
	参加チーム数・小ソフト	5 チーム	4 チーム	4 チーム
	参加チーム数・中野球	5 校	5 校	5 校
参加チーム数・中ソフト	4 校	3 校	3 校	

事業評価	評 価 項 目		評 価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)	A
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他	B(ウ)
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない	A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない	B
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他	A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い	B
評価の説明	野球・ソフト以外にも多数の競技種目があり、限定するのは公平さに欠ける。また、各種目とも多数の大会があり、町が主催する必要性も薄れている。大会の継続について関係団体及び町村とも協議し、見直しを検討する。		

今後の取組・課題	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	各種目とも多数の大会があり、町が主催する必要性も薄れている。大会の継続について関係団体及び町村とも協議し、見直しを検討する。
----------	---	--

# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	4(2)②	担当課	生涯学習課	担当者	附田真治
事業名	青森県民駅伝競走大会				

事業費	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	859	860	882	
	財源内訳	国・県支出金	59	60	60
		その他			
		町 債			
一般財源		800	800	822	

事業概要	□ 目的	□ 内容
	大会を通じて七戸町民の一体感を強めるとともに、スポーツ(陸上競技)に対する理解と関心を高め、活力ある町づくりとスポーツ振興を目的とする。	県内全40市町村が参加し、青森市内の8区間を市の部・町の部・村の部でそれぞれ競う。町の部5位、総合12位。 選手 ・一般男子 7人(一般 5人 大学生 2人) ・中学生男子 4人 ・女子4人(大学生 2人 中学生 2人)

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)	成績	町の部 5位 総合 11位	町の部 5位 総合 12位

事業評価	評 価 項 目			評 価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他		A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている B 成果は上がっていない		A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている B 公平に配分されていない		A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他		A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%) B (50%) C (25%) 優先性が高い 低い		A
評価の説明	青森県のスポーツイベントで、町民が一体感を強めることができ、毎年入賞を目指して活動しており、県内トップクラスの選手育成も成されている。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	中学校と協力して、選手層の強化に努める。特に女子の強化が課題。高校生及び社会人の選手候補の情報収集が課題。
----------	--	---

# 事業評価シート

事業細目番号	4(2)③	担当課	生涯学習課	担当(記入)者	附田真治
事業名	体育協会支援補助事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		決算額(千円)	2,144	2,346
財源内訳	国・県支出金			
	その他		696	760
	町債			
	一般財源	2,144	1,650	1,650

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	<input type="checkbox"/> 内容
	体育協会及び加盟団体への活動支援	体育協会及び加盟団体への活動(組織運営・事業等)に対する支援事業

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	体育協会加盟団体数	21団体	21団体	21団体
	体育協会加盟人数	983名	949名	934名

事業評価	評価項目			評価
	事業評価	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)		
②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他			A	
③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない			A	
④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない			A	
⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他			A	
⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い			A	
評価の説明	スポーツを通じた町の活性化を図るためには、体育協会の力が必要不可欠であり、組織運営上の援助としては最低限補助できている。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	町財政上の問題もあるが、補助額を少しでも上げられるよう努力したい。
----------	--	-----------------------------------

# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	4(2)④	担当課	生涯学習課	担当者	附田真治
事業名	スポーツ少年団支援補助事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	701	701	701	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源	701	701	701		

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	<input type="checkbox"/> 内容
	スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、青少年の健全な育成に資する。また、町民の健康維持・増進および体力・競技力の向上、更には次世代を担う子供たちへのスポーツの普及と健全育成を図るため、町内で子どものスポーツ活動を行う団体への促進を図るためのものである。	七戸町体育協会よりスポーツ少年団へ補助 ①加盟単位団(18団)への活動費補助 ②スポーツ少年団・指導者内の交流会 ③募金等の奉仕活動 ④指導者育成のための補助 ⑤冬季練習場所への移動・活発な活動のための補助

9 1

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	単位団・登録者数	18団 276名	19団 371名	18団 332名

		評価項目	評価
事業評価		①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)	A
		②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他	A
		③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 効果は上がっている B 効果は上がっていない	A
		④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている B 公平に配分されていない	A
		⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他	A
		⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%) B (50%) C (25%) 優先性が高い 低い	A
	評価の説明	地域主体のスポーツ少年団が、活動する上での支援は必要であり、評価できる。	

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	子供たち(小学生)のスポーツの中心は少年団であるので、さらに支援できるようにすべきだが、社会体育の在り方も考慮しなければならない。
----------	--	---

# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	4(2)⑤	担当課	生涯学習課	担当者	附田真治
事業名	子どもスポーツ振興事業				

事業費	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決 算 額(千円)	1,190	1,340	1,230	
	財 源 内 訳	国・県支出金			
		そ の 他			
		町 債			
一 般 財 源	1,190	1,340	1,230		

事業概要	□ 目的	□ 内容
	町民の健康維持・増進および体力・競技力の向上、更には次世代を担う子どもたちへのスポーツの普及と健全育成を図るため、町内で子どものスポーツ活動を行う団体へ支援する。 地域型少年団への完全移行に伴い、指導者への報酬及び旅費、子どもの送迎経費等に充てる目的で平成24年度より補助を開始している。	七戸町からスポーツ少年団へ補助 補助対象経費 ①指導者への報酬及び旅費 ②活動送迎経費 ③需用費、役務費、使用料、賃借料、負担金の一部

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	単位団・登録者数	18団 276名	19団 371名	18団 332名

事業評価	評 価 項 目			評 価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他		A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない		A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない		A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他		A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い		A
評価の説明	地域主体のスポーツ少年団が、活動する上での支援は必要であり、評価できる。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	子供たち(小学生)のスポーツの中心は少年団であるので、さらに支援できるようにすべきだが、社会体育の在り方も考慮しなければならない。
----------	--	---

# 事業評価シート

事業細目番号	4(2)⑥	担当課	スポーツ振興課	担当(記入)者	附田真治
事業名	体育協会大会派遣事業(郡総合・北奥羽・県民体育大会)				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	1,094	792	783	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源	1,094	792	783		

事業概要	□ 目的	□ 内容
	体育協会及び所属団体が町代表として地区大会並びに上位大会出場の機会を支援し、競技力向上と指導者の資質向上を目的とする。	上北郡総合体育大会・北奥羽総合体育大会・青森県民体育大会への参加に伴う費用の一部を補助する。 全国・東北大会出場に伴う経費の一部補助及び選手強化のため施設使用料の一部を補助する。

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	上北郡総合体育大会参加者数	15競技181名出場(3競技優勝/総合第2位)	15競技187名出場(3競技優勝/総合第4位)	15競技181名出場(2競技優勝/総合第4位)
	北奥羽総合体育大会参加者数	7競技56名出場(バドミントン競技優勝)	3競技26名出場	4競技37名出場
	青森県民体育大会参加者数	12競技159名出場(剣道優勝)	9競技102名出場/町の部13位	10競技100名出場/町の部9位
全国東北大会出場数	団体(野球・女子サッカー・GB)	団体(ゲートボール)	団体(ゲートボール・ハンドボール・ボウリング・グランドゴルフ)	

事業評価	評価項目			評価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他		A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない		A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない		A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他		A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い		A
評価の説明	町代表として出場する大会への派遣費であり得る。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	町代表として出場する大会への派遣費であり、より多く助成できるようにする必要がある。
----------	--	---

# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	4(2)⑦	担当課	生涯学習課	担当者	附田真治
事業名	七戸町スポーツ大会等選手派遣補助事業(県大会・東北大会・全国大会)				

事業費	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	1,800	1,525	1,342	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町 債			
一般財源	1,800	1,525	1,342		

事業概要	□ 目的	□ 内容
	上位大会出場機会を支援することで、競技力の向上・競技スポーツの振興、生涯スポーツ振興を目的とする。	町内スポーツ少年団及び体協所属団体等が、予選を経て東北・全国大会に出場する場合の対象経費(交通費宿泊費等)を補助する。 (スポ少:対象経費1/1 体協加盟団体及び一般関係:対象経費1/2)

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	スポーツ少年団	9 件 20 名	26 件 175 名	26 件 127 名
		323,000 円	1,267,000 円	1,110,000 円
	一般	3 件 52 名	3 件 23 名	4 件 20 名
	1,477,000 円	258,000 円	232,000 円	

事業評価	評 価 項 目			評 価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他		A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている B 成果は上がっていない		A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている B 公平に配分されていない		A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他		A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%) B (50%) C (25%) 優先性が高い 低い		A
評価の説明	平成24年度まで少年団の補助率が東北大会1/3・全国大会1/2だが、中学校部活動が1/1であることから、平成25年度より少年団も同等の扱いとした。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	少年団の補助率を県大会・東北大会・全国大会を問わず、交通費宿泊費等対象経費を100%補助とした。
----------	---	--

# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	4(3)①	担当課	生涯学習課	担当者	附田真治
事業名	スポーツ推進委員の研修				

事業費	年 度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決 算 額(千円)		420	432	273	
	財源内訳	国・県支出金				
		そ の 他				
		町 債				
一 般 財 源		420	432	273		

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	<input type="checkbox"/> 内容
	町民の心身の健全な発達と、明るく豊かな生活の形成に寄与する。	スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに町民に対するスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行う。

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	委員数	15名	14名	14名
	会議数(行事数)	20回	20回	19回

事業評価	評 価 項 目			評 価
	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)			A
	②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他			A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている B 成果は上がっていない			A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている B 公平に配分されていない			A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他			A
評価	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%) B (50%) C (25%) 優先性が高い 低い			A
	評価の説明	町民スポーツ交流会を実施する等、軽スポーツ普及に努めている。地域スポーツ推進に大きな役割を果たしている。25年度より町民スポーツ交流会を実施。		

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	①子供から高齢者までの参加 ②町内会、分館の多数参加 上記のことを踏まえた町民スポーツレクリエーション祭を実施したが、周知等を改善しさらに多数の参加を促す必要がある。
----------	--	---

# 事業評価シート

事業細目番号	4(3)②	担当課	生涯学習課	担当者	附田真治
事業名	スポーツ顕賞				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	413	381	455	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源	413	381	455		

事業概要	□ 目的	□ 内容
	スポーツ活動において町民の健康福祉の増進に功労があったもの又は広く町民の模範となるべきものを顕賞する。	スポーツ顕賞(①スポーツ功労賞 ②スポーツ賞 ③スポーツ優秀賞 ④生涯スポーツ奨励賞)の顕賞を行う。 各種団体、県内外の高校から推薦してもらい、七戸町スポーツ顕賞審議会で審議し、受賞者を決定する。

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	スポーツ功労賞受賞者数	個人1名	個人3名	個人2名
	スポーツ賞受賞者数	個人1名	個人1名	個人5名
	スポーツ優秀賞受賞者数	個人11名・団体2(24名)	個人10名	個人10名・団体3(19名)
生涯スポーツ奨励賞受賞者数	個人1名・団体1(6名)	個人7名・団体1(6名)	個人1名・団体1(4名)	

事業評価	評価項目			評価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他		A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない		A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない		A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他		A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い		A
評価の説明	スポーツ活動で顕著な功績・成績のあった個人・団体の顕賞で、受賞者の功績を広く町民に周知することで、スポーツ活動への意欲・関心を高めるものであり、町のスポーツ振興へもつながっていくものであるため、継続が必要である。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・功労賞については、具体的な基準は難しいものがあるので、審議会及び担当者が統一見解を持っていなければならない。</li> <li>・他県へ進学した町内出身の高校生等、顕賞にもれないよう努める。</li> <li>・現状のまま継続する。</li> </ul>
----------	--	---



# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	5(1)①	担当課	七戸中央公民館	担当者	蛭澤 久子
事業名	公民館運営審議員設置事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	260	159	152	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
	一般財源	260	159	152	

事業概要	□ 目的	公民館が町民の意見を適切に反映し、民主的・効果的に運営されるために、運営審議委員の協力を得て公民館運営を行う。	□ 内容	公民館事業に関することや公民館の運営について、説明や意見の聴取等を行う会議を年2回開催するほか、年1回研修会に参加し、公民館運営の改善を図り地域に開かれた公民館づくりを推進する。

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	運営審議委員数	10人	10人	9人
	会議	5回	2回	2回
	研修会	1回	1回	1回

事業評価	評 価 項 目			評 価
	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い                  B 町民ニーズは低い(ない)			A
	②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである                  B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他			A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている                  B 成果は上がっていない			A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている                  B 公平に配分されていない			A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない                  B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他			A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)                  B (50%)                  C (25%) 優先性が高い                                  低い			A
評価の説明	公民館運営審議会委員から意見や評価を得ることにより、地域に開かれた信頼される公民館づくりに貢献している。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他(                                  )	地域や公民館との関わりのある関係者の意見を広く求め、地域に開かれた公民館づくりを推進するために、継続が必要である。
----------	---	---

# 事 業 評 価 シ ー ト

事業細目番号	5(1)②	担当課	七戸中央公民館	担当者	蛭澤 久子
事業名	中央公民館(施設)事業				

事業費	年 度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	決算額(千円)		29,092	33,105	20,195
	財源内訳	国・県支出金			
		その他	529		
		町債			
一般財源		28,563	33,105	20,195	

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	<input type="checkbox"/> 内容
	生涯学習活動の拠点機能	公民館施設の利用促進を図り、各種学習機会の増進、文化団体育成支援を目的とする。

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)	公民館利用者数(人)	16,812	16,754

		評 価 項 目	評 価
事業評価	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他		A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない		A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない		A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他		A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い		A
評価の説明	町が行うべき地域づくり支援にとって、公民館施設は地域活動の拠点であることから、多様化している町民のニーズに対して、本事業は優先性が極めて高い。利用者数は、前年度と比べ、ほぼ横ばいに推移したことから、本事業を安定的に実行し、町民に定着してきたと評価する。		

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続   <input type="checkbox"/> 充実   <input type="checkbox"/> 廃止   <input type="checkbox"/> 縮小  <input type="checkbox"/> 統合   <input type="checkbox"/> 完了   <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討  <input type="checkbox"/> その他( )                 </p> <p>                     今後は、住民ニーズと効果的な利用法・啓発方法を考慮し、利用率の向上に努めなければならない。また、施設・設備について、定期的な保守点検を行い、利便性の高い施設・設備に努めなければならない。                 </p>
----------	--	--

# 事業評価シート

事業細目番号	5(1)③	担当課	七戸中央公民館	担当者	蛭澤 久子
事業名	中央公民館分館事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	2,607	2,200	2,200	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源		2,607	2,200	2,200	

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	地域コミュニティの形成・充実及びまちづくりの活性化を図ることを目的とする。	<input type="checkbox"/> 内容	分館が地域特性を活かし、町民に学習機会、健康増進業務、奉仕活動、伝統文化の継承、世代間交流等を実践する。
------	-----------------------------	---------------------------------------	-----------------------------	--

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	分館数(分館)	11	11	11

		評価項目	評価
事業評価		①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)	A
		②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他	A
		③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない	A
		④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない	A
		⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他	A
		⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い	A
	評価の説明	分館の地域性、独自性を持って、地域住民のニーズに沿った事業を実践することにより、地域コミュニティをより充実させている。また、分館長会議を開催し、分館における問題を出し合い、連携を図ることができた。	

今後の取組・課題	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	分館は、地域性を活かした事業を実行するように努めるとともに、分館間での情報共有の機会を設け、意見を交換している。今後は、情報共有に基づき、地域課題を見つけ、それに重点を置いた事業を展開することが望まれる。
----------	--	--



# 事業評価シート

事業細目番号	5(1)⑤	担当課	七戸中央公民館	担当者	蛭澤 久子
事業名	寿大学開設事業				

事業費	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	87	100	96	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町 債			
	一般財源	87	100	96	

事業概要	□ 目的	□ 内容
	高齢者が「技術・技芸」「スポーツ」「健康」「一般教養」の学習を図り、長年にわたって培った豊富な経験、知識、技術をさらに高め、健やかで生きがいのある人生を送り、社会活動に参加する学習機会を提供することを目的とする。	6月:開講式(DVD上映会) 7月:町外研修(是川縄文館) 8月:手工芸教室(おくるみ人形作り) 9月:健康教室、読み聞かせ教室 10月:手工芸教室(買い物カゴ) 11月:体験教室(七宝焼き) 12月:料理教室(家でも簡単に作れる料理) 1月:軽スポーツ教室(グラウンドゴルフ) 2月:閉講式(高齢者の食事とストレッチ運動の講話)

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	開催数	9回	9回	9回
	参加者数(人)	293人	358人	261人

事業評価	評 価 項 目			評 価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他		A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない		A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない		A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他		A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い		A
評価の説明	「是川縄文館」を解説つきでの研修は、参加者が大変興味を持って学習した。小川原湖青年の家での「七宝焼き」、「手工芸教室」など意欲的に取り組んでいた。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	関係機関や関係課との連携を図り、学習内容をさらに充実させ、コスト削減に努める。また、幅広い年代(60代～80代)の方が入学するので、アンケート調査を実施したり、町民の意見や要望を取り入れ、施設、設備環境に配慮し、学習機会を提供する必要がある。
----------	---	---

# 事業評価シート

事業細目番号	5(1)⑥	担当課	南公民館	担当者	大沢田 慎一
事業名	「柏葉大学」開設事業				

事業費	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	86	62	102	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町 債			
	一般財源	86	62	102	

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	高齢者の生き甲斐づくりの為、健康・教養・趣味を軸とした各講座を開催し、社会教育活動に参加する機会を作る。	<input type="checkbox"/> 内容	生涯学習のさらなる向上、充実を図る為、次のような講座を実施した。 講座 ①健康講座②清掃奉仕活動③山野草とあそぼう④パークゴルフ⑤ヨガ教室⑥思い出の歌教室⑦グランド・ゴルフ教室⑧タペストリーのお正月飾り教室⑨町外施設見学青森市⑩講演会 全10講座
------	-----------------------------	--	-----------------------------	--

事業効果	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	講座実施数	21回	10回	14回
	参加者人数	384人	196人	277人(延人数329人)

事業評価	評 価 項 目			評 価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他		A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない		B
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない		A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他		A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い		A
評価の説明	この事業は、60歳以上が対象の事業であることから、実施内容や実施方法を、今後、住民のニーズに応えられるよう更なる創意工夫し、継続して、高齢化社会の中、ますます内容の充実を図らなければならない必要がある。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input checked="" type="checkbox"/> その他(募集方法の見直しが必要)	地域のニーズに合った講座を企画立案し、より一層高齢者の生き甲斐・社会教育活動に参加する場の提供に役立つよう努力していく。また、男性の参加者が少ないので、実施内容など、適切かつ魅力ある設定が必要である。
----------	---	--

# 事業評価シート

事業細目番号	5(1)⑦	担当課	七戸南公民館	担当者	大沢田 慎一
事業名	七戸南公民館講座開設事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)		266	288	160
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
町債					
	一般財源	266	288	160	

事業概要	□ 目的	□ 内容
	地域住民の知識、教養を高め、健康の増進を図り、心豊かで潤いのある生活を目指す。講座を契機とした自主活動・グループ作りに繋げる。	地域住民や時代の要請に応じた生涯学習講座を種類別、年齢層別に開催。平成26年度は計7講座を開催した。 (創造の森トレッキング講座、エコクラフト教室、にんにくリース教室、絵手紙教室、ヒナコウモリ観察会、茶道教室、新七戸の歴史講座)

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	項目(単位)				
	講座数		8講座	9講座	7講座
参加者数		374人	463人	114人(延人数286人)	

事業評価項目		評価
事業評価	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い                      B 町民ニーズは低い(ない)	A
	②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである                      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合)    (ア)国・県が行うべき    (イ)民間で実施可能    (ウ)その他	A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている                      B 成果は上がっていない	A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている                      B 公平に配分されていない	A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない                      B コスト削減の余地はある (Bの場合)    (ア)受益者負担    (イ)事業の簡素・効率化    (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携    (オ)適切な財源の選択    (カ)その他	A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)                      B (50%)                      C (25%) 優先性が高い    低い	A
評価の説明	生涯学習事業の要とも言える事業であり、より一層の充実が望まれるため、優先性は高い。参加者の満足度は概ね高く、充実しているといえる。	

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引き続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	いずれの講座も満足度は高く、内容は充実しているといえる。今後も町民のニーズに合わせ、さらに展開していきたい。
----------	--	--

# 事業評価シート

事業細目番号	5(1)⑧	担当課	七戸南公民館	担当者	大沢田 慎一
事業名	七戸南公民館分館事業				

事業費	年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	決算額(千円)		800	800	800
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
	一般財源				

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	<input type="checkbox"/> 内容
	地域住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。	旧七戸中央区以外の4地区(野々上、西野、倉岡、鶴児平)に分館を設置し、各地区において特色のある事業を展開し、地域の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。

事業効果	年度			
	項目(単位)	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	野々上分館運営委託金	200	200	200
	西野分館運営委託金	200	200	200
	倉岡分館運営委託金	200	200	200
	鶴児平分館運営委託金	200	200	200

事業評価項目		評価
事業評価	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)	A
	②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合)      (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他	A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない	A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない	A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合)      (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他	A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い	A
評価の説明	いずれの分館も分館長や分館主事を中心として特色のある事業を展開している。南公民館としては、各分館の事業の周知の協力や、事業計画の助言に加え、適切な会計処理の指導を行っている。	

今後の取組・課題 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	各分館とも安定した運営を行っている。今後他の地区との情報交換により、さらに充実した分館事業を行いたい。
---	---

# 事業評価シート

事業細目番号	5(2)①	担当課	七戸中央公民館	担当者	蛭澤 久子
事業名	文化協会の育成支援事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	800	800	706	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源		800	800	706	

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	各種文化団体及び、各種文化団体相互の交流を図り、文化の振興を目的に組織された七戸町文化協会の指導・支援。	<input type="checkbox"/> 内容	文化の振興を図るため、各種文化団体で組織する七戸町文化協会の文化振興事業を指導及び支援する。七戸町文化協会主催事業(文化講演会)を開催する。

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	文化協会登録団体数(団体)	57	51	49
	文化講演会参加数(人)	150	150	260

事業評価	評価項目			評価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他		A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない		A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない		A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他		A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い		A
評価の説明	各種文化団体を統括する七戸町文化協会は重要であり、当該協会を有効的に継続するためには、財政面、ソフト面において支援が必要である。当該協会の必要性・妥当性・公平性・優先性は妥当であると評価できるが、効率性については、前年度の事業実績を精査のうえ、コスト削減する余地があるものと評価される。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	町の文化振興に対する必要性は大きいことから、継続して支援しなければならない。今後は、効率性に重点を置き、コスト削減に向けて当該協会に対し、指導・支援しなければならない。また、協会の自立を視野に入れた指導・支援も継続的に行っていく。
----------	--	---







# 事業評価シート

事業細目番号	6 (1) ②	担当課	中央図書館	担当者	成田 真由美
事業名	図書館サービス事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	7,659	8,296	8,095	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源	7,659	8,296	8,095		

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	図書、記録その他必要な資料を収集・整理・保存して一般市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するという、図書館法に基づいたサービスを実施する。	<input type="checkbox"/> 内容	図書館資料の収集・整備、貸出、レファレンスサービス、巡回貸出、集会行事の実施など。
------	-----------------------------	---	-----------------------------	---

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	年間開館日数(日)	327	327	330
	図書購入費(千円)	500	500	600
	蔵書数(冊)	31,762	31,827	32,281
年間貸出冊数(冊)	13,034	13,475	13,125	

事業評価	評価項目			評価	
	事業評価	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)			A
		②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他			A
		③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない			A
		④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない			A
		⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他			A
		⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い			A
評価の説明	図書の収集については、蔵書バランスに考慮し整備するとともに、郷土資料の収集や、七戸町関連の新聞記事をスクラップにし、利用の促進を図っている。また、図書館サービスの周知を図るため、「図書館だより」を発行している。				

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	限られた予算・人員・施設面の中でも、できる限りのサービスは実施しているが、より充実したサービスに努める必要がある。
----------	---	---



# 事業評価シート

事業細目番号	6(2)①	担当課	七戸中央公民館	担当者	蛭澤 久子
事業名	子どもの読書活動推進事業				

事業費	年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	決算額(千円)		24	24	24
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源		24	24	24	

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	すべての子どもがあらゆる機会、場所において自由に公平に読書を行うことができるよう、読書環境づくりを推進する。	<input type="checkbox"/> 内容	①おはなし会(春・夏・クリスマス・冬)開催と絵本の展示による啓発 ②朝の読み聞かせ(小学校) ③学校巡回配本(小学校・中学校・保育園) ④県立図書館事業を利用した巡回配本(保育園) ⑤読み聞かせボランティアの育成

事業効果	年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)				
	児童図書貸出冊数		1,963冊	1,332冊	1,732冊
	おはなし会参加人数		260人	382人	185人
学校配本冊数		1,840冊	1,580冊	960冊	

		評価項目	評価
事業評価		①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)	A
		②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他	A
		③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている B 成果は上がっていない	A
		④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている B 公平に配分されていない	A
		⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他	A
		⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%) B (50%) C (25%) 優先性が高い 低い	A
	評価の説明	子どもが読書への関心を高めるよう、小学校の朝の読み聞かせ、保育園での絵本の読み聞かせ、おはなし会等を開催し効果を上げている。 こども読書活動推進のために、読み聞かせボランティアの連携と支援を行っている。	

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	子ども読書活動推進のため、本に親しめる環境整備と、読み聞かせボランティアの育成は、今後も継続して支援を行っていく必要がある。
----------	--	--

# 事業評価シート

事業細目番号	6(2)②	担当課	七戸中央公民館	担当者	蛭澤 久子
事業名	ボランティア活動の育成支援事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	0	0	0	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源	0	0	0		

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	町民の読書活動支援のため、ボランティア活動の促進を図ることを目的とする。	<input type="checkbox"/> 内容	ボランティアの会員が、小学校での朝の読み聞かせ、保育園での絵本の読み聞かせ、各種団体等へのおはなし会を開催している。
------	-----------------------------	--------------------------------------	-----------------------------	--

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	朝の読み聞かせ回数	24回	24回	27回
	朝の読み聞かせ参加数	2,691人	2,613人	2,970人
	絵本の読み聞かせ回数	12回	12回	7回
絵本の読み聞かせ参加数	474人	852人	405人	

事業評価	評価項目			評価	
	事業	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)			A
		②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他			A
		③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない			A
		④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない			A
		⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他			A
		⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い			A
評価の説明	会員が自主的に学習会を開いたり、各種研修会等に参加し、スキルアップに努めて読み聞かせ活動をしていることは、素晴らしいことで、成果が上がっている。				

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	今後も研修会等の情報提供をし、会員のさらなるスキルアップを高めるように支援していく必要がある。
----------	--	---

# 事業評価シート

事業細目番号	6 (2) ③	担当課	中央図書館	担当者	成田 真由美
事業名	子どもの読書活動推進事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	89	107	113	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源	89	107	113		

事業概要	□ 目的	□ 内容
	「七戸町子ども読書活動推進計画」に基づき、すべての子どもがあらゆる機会、場所において、自主的に読書を行うことができるよう、読書環境づくりを推進する。	①おはなし会の開催や絵本の展示による啓発活動 ②6ヶ月児健診を利用したブックスタート事業 ③学校巡回配本(月1回/低・高学年別) ④県立図書館事業「子どもの読書活動推進のための図書セット貸出」事業を利用した巡回配本。(保育園・幼稚園対象:家庭での読み聞かせ用絵本) ⑤読み聞かせボランティアの育成

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	おはなし会実績(回/人)	3/150	3/110	3/100
	ブックスタート実績(人)	90	83	85
	学校配本実績(人/冊)	3,658/8,331	3,476/7,355	2,910/6,426
図書セット巡回配本(ヶ所)	幼・保 7/中 1	幼・保 7/中 1	幼・保 4	

事業評価	評価項目			評価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他		A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている B 成果は上がっていない		A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている B 公平に配分されていない		A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他		A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%) B (50%) C (25%) 優先性が高い 低い		A
評価の説明	子ども読書活動推進計画に基づき、おはなし会をはじめとした各種事業を実施し、子どもの読書への関心を高める活動を行っている。また、図書ボランティアの育成に関する支援も行っている。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	「七戸町子ども読書活動推進計画」をもとに、今後も継続して取り組んでいく。また、ボランティアの育成については、新規会員の確保も含め、支援を行っていく必要がある。
----------	--	---

# 事業評価シート

事業細目番号	6 (2) ④	担当課	中央図書館	担当者	成田 真由美
事業名	生涯学習の推進・支援事業				

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	決算額(千円)	80	80	40	
	財源内訳	国・県支出金			
		その他			
		町債			
一般財源	80	80	40		

事業概要	<input type="checkbox"/> 目的	町民への学習機会の提供及び学習活動の支援を行う。	<input type="checkbox"/> 内容	①図書館講座の開講(年1講座全5回) ②読書団体等への資料提供の支援や、イベントへの協力等

事業効果	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	項目(単位)			
	実施回数(回)	10, 4	10, 4	5, 4
	参加延べ人数(人)	177,120	107,120	61,120
講座名	「源氏おもしろ読み③」 “とっておきの話”懇話会②～⑤	「源氏おもしろ読み④」 “とっておきの話”懇話会⑥～⑨	近代文学の珠玉・白樺&芥川 “とっておきの話”懇話会⑩～⑬	

事業評価	評価項目			評価
	①必要性(町民が必要としていますか)	A 町民ニーズは高い      B 町民ニーズは低い(ない)		A
	②妥当性(町が行うべきですか)	A 町が行うべきである      B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき      (イ)民間で実施可能      (ウ)その他		A
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)	A 成果は上がっている      B 成果は上がっていない		A
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)	A 公平に配分されている      B 公平に配分されていない		A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	A コスト削減の余地はない      B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担      (イ)事業の簡素・効率化      (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携      (オ)適切な財源の選択      (カ)その他		A
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	A (75%)      B (50%)      C (25%) 優先性が高い      低い		A
評価の説明	郷土作家の作品や古典作品を取り上げた講座は毎回好評であり、また、講座に絡んだ図書利用もあるため、今後も継続して実施する必要がある。その他、図書館を利用して研究等を行っている町民が中心となり、町の人や歴史にまつわる逸話の発表の場として「とっておきの話」懇話会」を立ち上げ講演会を開催しており、運営等の協力・後援を行っている。			

今後の取組・課題	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 引続き見直し検討 <input type="checkbox"/> その他( )	継続実施しながらも、その他集会行事についても検討していく。
----------	--	-------------------------------